

南知多町振興基本計画

平成 25 年 3 月
南知多町

目 次

■	南知多町振興基本計画【全域版】	1
1.	内海地区振興基本計画	9
2.	山海地区振興基本計画	15
3.	豊浜地区振興基本計画	21
4.	豊丘地区振興基本計画	27
5.	大井地区振興基本計画	33
6.	片名地区振興基本計画	39
7.	師崎地区振興基本計画	45
8.	篠島地区振興基本計画	51
9.	日間賀島地区振興基本計画	57

南知多町 振興基本計画

発行・編集●南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日●平成25年3月



南知多町の将来像

太陽と海と緑豊かなまちづくり
～人と自然！みんなの汗で光るまち～

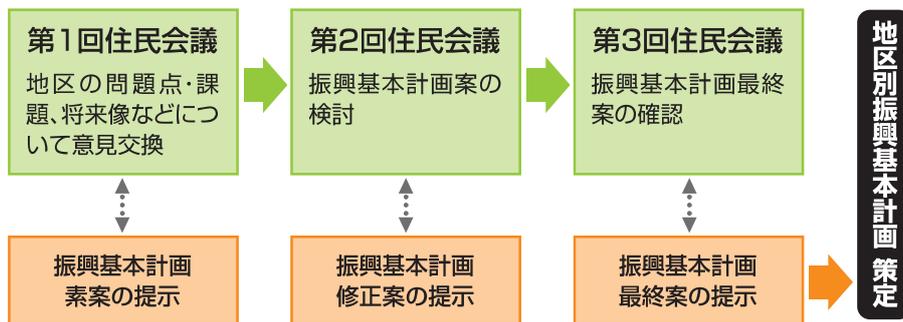
全域版

計画の趣旨

南知多町では、町民と行政が共通の目標を持ち、一体感をもって地域づくりを推進していくため、各地域の皆様とともに、地域の振興指針となる「南知多町振興基本計画」を策定しました。この計画は、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。一つでも多くの事業が実現できるように、地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過

庁内において、若手職員を中心とした庁内検討会議（プロジェクトチーム）や幹部会議で検討を行うとともに、町内9地区において計3回ずつ地区住民会議を開催し、地区の主要課題や将来のあるべき姿、実現に向けて必要な事業内容などを各地区の住民のみならずとじっくり検討して、地区別計画としてとりまとめました。（全域版は、各地区の計画内容を合体したものです。）



人口でみる本町の概況

人口・世帯の状況（平成22年国勢調査）

総人口	20,549人	0～14歳	2,203人	高齢化率	29.6%
男性	9,948人	15～64歳	12,244人	世帯数	7,197世帯
女性	10,601人	65歳以上	6,081人	平均世帯人員	2.49人/世帯
		年齢不詳	21人		

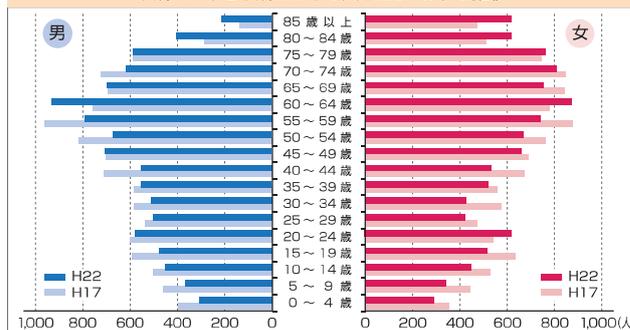
出生数の推移

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
107人	132人	115人	121人	120人

●町の人口

- ・南知多町の人口は20,549人、世帯数は7,197世帯です。
- ・年齢別にみると、「0～14歳」が2,203人、「15～64歳」が12,244人、「65歳以上」が6,081人で、65歳以上の高齢化率は29.6%となっています。
- ・人口ピラミッドをみると、男性では「60～64歳」が多く、次いで「55～59歳」が多くなっています。一方、女性では55～79歳が多くなっており、特に「60～64歳」が最も多くなっています。男性よりも女性の方が年齢層の高い人が多くなっています。

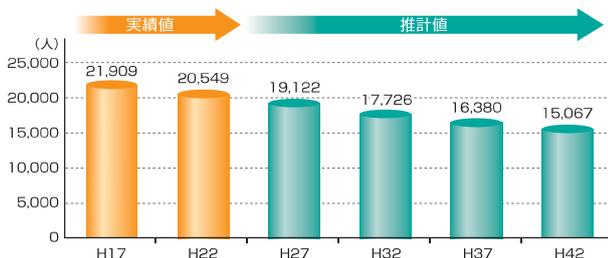
平成17年と平成22年の人口ピラミッドの推移



●将来人口の推計

- ・南知多町の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成32年には17,726人、平成42年には15,067人となると推計されています。
 - ・65歳以上の高齢化率も平成32年には37.4%、平成42年には42.6%になると推計されています。
- ※本計画の南知多町の将来人口については、9地区ごとにコーホート要因法を用いて行った人口推計結果を合算した数字であり、第6次南知多町総合計画に示されている目標人口の推計結果とは異なります。

将来人口の推計



年齢構成別人口比率の推計



■ 各地区の「将来像」「まちづくりの目標」

<p>内海地区</p>	<p>【将来像】 四季を愛でる 観光のまち 【目 標】 ①四季を通じて楽しめる観光のまち ②都市基盤の整ったにぎわいのあるまち ③地震・津波に強い安全・安心なまち ④観光を考慮した教育・文化のまち ⑤若者に魅力的な雇用のあるまち</p>
<p>山海地区</p>	<p>【将来像】 自然と活力にあふれ 安心して暮らせるまち 【目 標】 ①若い世代が住み続けたいまち ②歴史と自然にあふれる観光のまち ③都市基盤が整った安全・安心なまち</p>
<p>豊浜地区</p>	<p>【将来像】 自然と伝統を守り、安全・安心に楽しく暮らせる活力あるまち 【目 標】 ①災害に強く利便性の高いまち ②心豊かな子どもを育むまち ③里山・里海を生かした観光のまち ④地場産業の元気なまち ⑤祭りでにぎわうまち</p>
<p>豊丘地区</p>	<p>【将来像】 住みやすい 生涯現役のまち 豊丘 【目 標】 ①みんなが住みたくなる快適なまち ②地域資源を生かした観光のまち ③農を生かしたまち</p>
<p>大井地区</p>	<p>【将来像】 自然・歴史・文化がとけあい 健やかに暮らせるまち 【目 標】 ①歴史と四季折々の魅力が楽しめるまち ②地場産業の元気なまち ③文化的な暮らしが楽しめるまち ④健康にいきいきと暮らせるまち ⑤基盤の整った快適なまち ⑥安心して暮らせるまち</p>
<p>片名地区</p>	<p>【将来像】 赤ちゃんからお年寄りまで 住み続けたくなるまち 【目 標】 ①安全・安心なまち ②都市基盤の整った住みよいまち ③特色ある産業のまち</p>
<p>師崎地区</p>	<p>【将来像】 海と歴史に生まれ 若い世代も安心して暮らせるまち 【目 標】 ①地場産業の元気なまち ②若い世代が活躍できるまち ③すべての世代が暮らしやすいまち</p>
<p>篠島地区</p>	<p>【将来像】 自然も歴史も愛する島 【目 標】 ①自然と歴史を生かした観光の島 ②水産業が活気のある島 ③若い人が暮らしやすい島 ④いつまでも安心して暮らせる島</p>
<p>日間賀島地区</p>	<p>【将来像】 活気とふれあいのあるやさしい島 【目 標】 ①おもてなしの島 ②災害に強い安全・安心な島 ③子どもや高齢者にやさしい島 ④ゆったり、のんびりと訪れたい島 ⑤漁業、観光、商工業が連携する元気な島</p>

■ 主な事業・取組(分野別)

(🔧 住民会議等で提案された事業・取組 / 🔄 既存計画で位置づけされている事業・取組)

1. 道路・交通

内海	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 景観に配慮した市街地へのアクセス道路のにぎわいづくり(南知多ICから市街地まで) 🔧 国道247号の整備 🔧 (都)知多西部線の整備 🔧 (都)内海通線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 🔄 (都)河和内海線の整備 🔄 (町)内海山海線の整備 🔄 広域農道の整備(内海地区は完成) 🔄 細街路網の再編・整備(狹隘道路・行き止まり道路の解消)
山海	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 公共交通の充実の検討 🔧 細街路の再編・整備(狹隘道路の解消) 🔧 広域農道の整備 🔧 (県)岩屋観音線の整備(拡幅、ガードレール・歩道などの設置) 	<ul style="list-style-type: none"> 🔄 (町)内海山海線の整備(拡幅等の機能強化) 🔄 (県)奥田内福寺南知多線の整備(拡幅等の機能強化)
豊浜	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 国道247号の整備(歩道整備、埋立地における路線の一部変更) 🔧 広域農道へのアクセス道路の整備 🔧 役場前道路((都)豊丘豊浜線)の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 🔄 沿道複合地区の形成 🔄 (都)大井豊浜線の整備 🔄 広域農道の早期全線整備(豊浜地区は完成) 🔧 海っ子バスの充実
豊丘	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 生活道路の拡幅 🔧 街路灯の整備 🔧 海っ子バスの充実 🔧 (都)知多東部線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 🔄 主要地方道半田南知多公園線の整備(四車線化) 🔄 広域農道の早期整備(豊丘地区は完成) 🔧 歩道設置事業(県道豊丘豊浜線) 🔧 広域農道へのアクセス道路の整備
大井	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 歩道整備 🔧 細街路網の再編・整備 🔧 (都)知多東部線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 🔄 (都)大井豊浜線の整備 🔄 主要地方道半田南知多公園線の整備(四車線化) 🔧 街路灯・防犯灯の整備
片名	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 集落内道路の整備 🔧 街路灯・防犯灯の整備 🔧 国道247号の歩道整備 🔧 主要地方道半田南知多公園線の整備(四車線化) 	<ul style="list-style-type: none"> 🔄 (都)知多東部線の整備 🔄 広域農道の早期全線開通(片名地区は完成) 🔧 スクールバスの運行 🔧 海っ子バスの充実
師崎	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 海っ子バスの充実 🔧 歩道及び街路灯の整備による安全な道づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 🔄 主要地方道半田南知多公園線の整備(四車線化) 🔧 有料道路の無料化
篠島	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 観光船の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 主要町道の維持・改修
日間賀島	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 渡船施設の整備 🔧 マリーナの整備 🔧 海上交通の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 防災面に配慮した道路の整備(🔧 主要町道の維持・改修) 🔧 巡回バスの運行

2. 市街地・住宅整備

内海	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 人にやさしい内海駅及び周辺地域の環境整備(🔧 内海駅周辺のバリアフリー化の促進) 🔧 内海駅周辺のにぎわいづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 住宅地の整備(内海第二区画整理) 🔧 都市的な土地利用への転換の可能性を検討 🔧 安全・安心な住宅地の整備
山海	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 市街化区域内の低未利用地における都市基盤の早急な整備 🔧 地区計画などによる都市的土地利用への転換の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 耕作放棄地を手放すための支援制度の構築 🔧 施設整備のルールづくり 🔧 週末居住や二地域居住の促進
豊浜	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 新たな住宅地の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 空き家の有効活用
豊丘	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 住宅地の整備 🔧 家庭菜園付の別荘地の整備 🔧 新市街地の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 空き家対策 🔧 土地利用規制の緩和

大井	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 高台への新しい住宅地の整備 ☒ 空き家の管理及び有効活用 ☒ 週末居住や二地域居住の促進 ☒ 住宅地における住工混在の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 居住環境整備 ☒ 都市基盤整備や地区計画等による都市的土地利用への転換 ☒ 漁業集落のまち並み保全
片名	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 若者向けの住宅整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 週末居住や二地域居住の促進
師崎	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 新たな都市的土地利用の検討 ☒ 集合住宅の誘致 ☒ 地域の空き家情報の収集と発信 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 空き家の有効活用 ☒ 町営住宅の整備 ☒ 新師崎地区の住環境整備
篠島	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 週末居住や二地域居住の促進 	
日間賀島	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 移転や移住用地としての住宅地の整備(☒ 低未利用地の住宅、工房等への活用) 	

3. 公園緑地・自然・環境

内海	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 観光客の利用にも配慮した新たな近隣公園の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 自然エネルギーの誘致
山海	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 豊かな自然と親しめる場の整備 (☒ 豊かな自然と親しめる場の整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 植林地・自然環境の維持・保全 (☒ 樹林地・自然環境の維持・保全)
豊浜	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 津波一次避難場所を兼ねた富士ヶ根公園の整備 	
豊丘	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 乃木山展望台の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 里山、ホテルの保全(☒ 樹林地の保全)
大井	<ul style="list-style-type: none"> ☒ お富士の山公園の整備 ☒ 清掃・草刈等の美化活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ みなと公園の再整備
片名	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 公園の整備 	
師崎	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 羽豆岬の保全・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 防災公園の整備
篠島	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 森林の保全 	
日間賀島	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 乗船場周辺の緑化 ☒ ごみ処理場の整備 ☒ 公園の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 緑化の推進 ☒ 海岸部の森林の保全

4. 河川・海岸

内海	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 内海川の早期整備 	
山海	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 農業用排水路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 山海川の早期整備(堤・川幅等の改修)
豊浜	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 鳥居川(準用河川)の改修 ☒ 高浜谷川(準用河川)の改修 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 人工砂浜の整備
大井	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 大井川・山田川の改修等 	
片名	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 片名川(準用河川)の改修 ☒ 排水ポンプの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 水門の管理体制の見直し
師崎	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 四季を通じて楽しめる磯場づくり 	
篠島	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 波返し延長 	
日間賀島	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 海水浴場の整備 	

5. 農業

内海	☑ 農業観光振興ゾーンの整備	
豊丘	☑ 観光農園ゾーン(☑ 農業振興ゾーン)	☑ 観光農業者等新規就農業者の誘致
大井	☑ 農業振興ゾーン	☑ 遊休農地を活用した貸農園の整備
片名	☑ 貸し農園の整備	☑ 遊休農地の活用促進ゾーン
篠島	☑ 市民農園・産直施設の整備	

6. 観光交流・商業

内海	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 滞在型観光施設の整備 ☑ イベント施設の整備 ☑ 釣り公園の整備 ☑ 「道の駅」の整備 ☑ 「海の駅」の整備 ☑ マリンスポーツ客向けの環境整備 ☑ レクリエーション地区の整備 ☑ 駐車場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 内海駅周辺の観光客に向けたサイン整備・観光情報の充実 ☑ 砂浜の保全・美化 ☑ 新たな観光スポットの開拓 ☑ 特産品のブランド化 ☑ 観光情報の発信の充実 ☑ 観光推進体制の整備
山海	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 観光交流ゾーンの整備(☑ 観光交流ゾーンの整備) ☑ 日本一の桜並木の整備 ☑ 護岸の遊歩道化の要望 ☑ 自然的景観と調和した観光商業施設の整備 ☑ 宿泊施設、観光客向け店舗等の誘致 ☑ 町全体の観光コーディネート推進 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 魅力づくりボランティア隊の整備 ☑ ウォーキングコースの整備 ☑ ハイキングコースの整備 ☑ マリンスポーツ客の受け入れ環境整備 ☑ 山海の観光マップの作成 ☑ 地域の商業を守る取組みの推進
豊浜	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 貸農園・観光農園、体験学習の場の整備 ☑ 「道の駅」などの観光レクリエーション拠点の整備(☑ 産業観光エリアの整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 貝がら公園を活用した観光まちづくり(トイレ、アクセス道路、散策道の整備) ☑ 水産試験場のリニューアルとPR ☑ 鯛まつりの魅力づくり
豊丘	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 観光開発ゾーン ☑ 散策ルートづくり(海岸や河川などの水辺空間等を活用した散策ルートの整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ レンタサイクル施設の設置
大井	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 弘法大師を生かした観光拠点の整備(上陸大師・聖崎公園周辺) ☑ 海釣り公園の整備 ☑ 海辺や歴史資源をつなぐ散策・ウォーキングルートの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 沿道型の商業施設・サービス施設、居住機能を有した複合施設(漁港周辺は商業施設を中心に地区形成) ☑ 海産物・農産物の地域ブランド化
片名	☑ 宿泊・店舗・船宿等の商業施設を中心とした整備	☑ 特産品を使った商品開発
師崎	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 観光センターや朝市を核とした「海の駅」構想(☑ 師崎港周辺の観光情報機能の充実、バリアフリーの促進、景観整備) ☑ 散策コースの整備(☑ 水辺空間などを活用した散策ルートの整備) ☑ 古いまち並みを生かした観光振興 ☑ レンタサイクルの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 観光客向け駐車場の整備 ☑ 公衆トイレの整備 ☑ 宿泊・店舗・船宿等の商業施設を中心とした整備 ☑ 師崎の知名度向上にむけたPR強化 ☑ 特産品開発による地域ブランド化 ☑ 観光案内ボランティアの実施 ☑ 観光の話題づくり
篠島	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 散策路の整備(☑ 散策路の整備) ☑ 牛取展望台の撤去と跡地の再整備 ☑ 観光船乗場及び周辺環境の整備(☑ 乗船場周辺の緑化) ☑ 無人島の観光利用 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 地域固有の歴史・文化資源の保全・活用 ☑ 神明社の拠点整備 ☑ 観光交流ゾーンの整備 ☑ 観光商業地の整備

篠 島	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 観光振興ゾーンの整備(☑レクリエーション地区の整備) ☑ 魚介類の島としての観光PR (☑ 自然資源を生かした観光業の振興) ☑ 島民の観光ガイドの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 新たな観光船ルートの開発 ☑ 良好な景観を保つための環境整備 ☑ 篠島の海産物・加工食品のブランド化 (☑ 自然資源を生かした水産業の振興)
日間賀島	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 観光交流ゾーンの整備 ☑ 観光商業地の整備 ☑ 散策路や休憩施設の整備 ☑ 案内看板の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 体験施設等の整備 ☑ 歴史・文化資源の保全・活用 ☑ 自然資源を生かした観光業の振興 ☑ 駐車場の整備

7. 水産業・港湾

内 海	☑ 内海港の老朽化対策	
山 海	☑ 山海漁港の漁港施設老朽化対策	
豊 浜	☑ 水産加工業や漁業関連施設、倉庫等の集積漁港施設の老朽化対策	
大 井	☑ 水産加工業や漁業関連施設、倉庫等の集積漁港施設の老朽化対策	
片 名	☑ 水産加工業や漁具庫等の漁業関連施設、倉庫等の集積	
師 崎	☑ 水産加工業や漁業関連施設、倉庫等の集積及び老朽化対策	
篠 島	☑ 水産加工業や漁具庫等の漁業関連施設や倉庫等の整備	☑ 水産業振興ゾーン ☑ 篠島漁港の老朽化対策
日間賀島	☑ 漁業関連施設や倉庫等の集積 ☑ 水産業振興ゾーン	☑ 漁港施設の老朽化対策 ☑ 漁業集落排水処理施設の維持・保全

8. 企業誘致・雇用

内 海	☑ 6次産業化の促進	
山 海	☑ 若い人の雇用の確保	
豊 浜	☑ 工業団地の整備(☑プラスチック工業団地周辺の保全・整備及び新たな工場の立地誘導)	☑ 既存の中小企業支援
大 井	☑ 軽工業の立地誘導	
片 名	☑ 企業誘致	
師 崎	☑ 観光を中心とした若者の新たな雇用創出	
篠 島	☑ 若者の雇用の場の創出	
日間賀島	☑ 若者の雇用創出	☑ 高齢者の雇用創出

9. 福祉・医療・子育て

内 海	☑ 特別養護老人ホーム周辺の維持・保全	
豊 浜	☑ 保育所の移転・整備	☑ 高齢者向け施設の整備
豊 丘	☑ 子どもの遊び場の整備	
大 井	☑ 高齢者福祉施設の整備	
師 崎	☑ 保育所の整備	

篠 島	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 子育て支援のための施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 介護支援のための施設整備
日間賀島	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 介護支援のための施設整備 ☒ 子育て支援のための施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 診療所の充実(☒ 診療所施設・医療設備の充実) ☒ ヘリポートの整備

10. 防災

内 海	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 避難タワーの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 津波一次避難場所及び避難路の整備
山 海	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 津波一次避難場所及び避難路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 植林地の土砂災害などの対策
豊 浜	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 津波一次避難場所及び避難路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 防災上危険な場所の改善
豊 丘	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 津波一次避難場所及び避難路の整備 	
大 井	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 津波・高潮対策 ☒ 津波一次避難場所及び避難路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 自主防災力の強化
片 名	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 津波一次避難場所及び避難路の整備 ☒ 自主防災活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 新たな防災拠点の整備
師 崎	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 津波一次避難場所及び避難路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 護岸の整備
篠 島	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 避難所の整備 ☒ 津波一次避難場所及び避難路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 建物の不燃化の促進
日間賀島	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 津波一次避難場所及び避難路の整備 ☒ 建築物の不燃化 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 救急・消防の専門スタッフの配置

11. 歴史・文化・教育

内 海	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 避難所を兼ねた文化複合施設の整備 ☒ 歴史探訪ゾーンの整備 (☒ 歴史・文化資源の保全・育成) 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 空き家を活用したアートギャラリーの整備 ☒ 資料館のPR強化 ☒ 梅原邸の環境整備及び活用
山 海	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 安全・安心な通学環境の整備 ☒ 学童保育のスペースの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 子育てしやすい環境の整備
豊 浜	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 学童保育と高齢者のサロンの実施 ☒ 小中学校の統合・整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 鯛まつり記念館の整備
豊 丘	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 保育所・小中学校の統合・整備(☒ 福祉・教育ゾーン) 	
大 井	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 地域の歴史文化などを体験・学習できる文化交流拠点施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 遺跡などの歴史資源の保全・活用
師 崎	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 世代間交流を通じた子どもの居場所づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 図書館の充実
日間賀島	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 学童保育の実施 	

12. コミュニティ・施設整備、その他

内 海	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 地区の集落再編の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 公共施設等の管理運営制度の整備
山 海	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 若い人たちの意見を聞く場の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 山海ふれあい会館を活用した地区集会所の整備
豊 丘	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 豊丘むくろじ会館を活用した周辺整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 住民が利用しやすい公共施設の管理制度の構築
片 名	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 公民館及び避難所の整備 	
師 崎	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 地域における若者の活躍の場や組織づくり 	

【参考】地区住民会議 開催記録

地区名	【第1回】	【第2回】	【第3回】
内海地区	平成24年11月 8日	平成24年12月 4日	平成25年1月22日
山海地区	平成24年11月 7日	平成24年12月12日	平成25年1月16日
豊浜地区	平成24年10月29日	平成24年12月 3日	平成25年1月21日
豊丘地区	平成24年11月14日	平成24年12月 5日	平成25年1月17日
大井地区	平成24年11月 6日	平成24年12月11日	平成25年1月29日
片名地区	平成24年11月 2日	平成24年12月 8日	平成25年1月19日
師崎地区	平成24年11月20日	平成24年12月13日	平成25年1月31日
篠島地区	平成24年11月27日	平成24年12月18日	平成25年1月24日
日間賀島地区	平成24年11月12日	平成24年12月10日	平成25年1月28日

【参考】地区住民会議 開催記録



(内海地区 第1回)



(山海地区 第2回)



(豊浜地区 第3回)



(豊丘地区 第1回)



(大井地区 第2回)



(片名地区 第3回)



(師崎地区 第1回)



(篠島地区 第2回)



(日間賀島地区 第3回)

1. 内海地区

南知多町 内海地区 振興基本計画

発行・編集 ● 南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日 ● 平成25年3月



内海地区の将来像

四季を愛でる 観光のまち

計画の趣旨

この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過

地区住民会議を3回開催しました。 第1回 平成24年11月8日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成24年12月4日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成25年1月22日『地域の振興計画案の仕上げ』

内海地区の概況

① 地区の概況

- ・内海地区は町内で唯一、鉄道駅を有する本町の玄関口です。名古屋市への通勤も可能で利便性の高い地区となっています。
- ・日本の渚百選にも選ばれた「千鳥ヶ浜」があり、ビーチバレーコートが常設されています。夏には海水浴客でにぎわい、大規模な集客イベントも開催されています。
- ・地区内には温泉旅館も多くあります。また、貝塚や寺社などの名所・歴史的建造物やレジャー施設があり、味覚狩り等の様々な体験メニューも用意されている観光地になっています。
- ・国道247号沿いには商業施設の立地が進行しています。また内陸部には森林や基盤整備された農地が広がっています。地区内には内海高校や特別養護老人ホームも立地しています。



人口・世帯の状況（平成22年国勢調査）

総人口	4,684人	0～14歳	515人	高齢化率	29.0%
男性	2,240人	15～64歳	2,804人	世帯数	1,757世帯
女性	2,444人	65歳以上	1,355人	平均世帯人員	2.66人/世帯
		年齢不詳	10人		

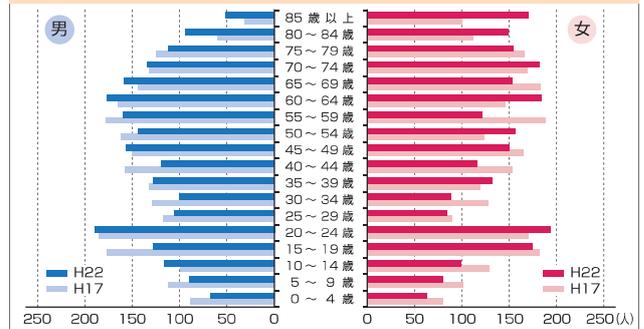
出生数の推移

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
22人	27人	25人	32人	27人

② 地区の人口

- ・地区の人口は4,684人、世帯数は1,757世帯で、町全体の人口の22.8%を占めています。
- ・年齢別にみると、「0～14歳」が515人、「15～64歳」が2,804人、「65歳以上」が1,355人で、65歳以上の高齢化率は29.0%となっており、町全体の高齢化率29.6%よりもわずかに低くなっています。
- ・人口ピラミッドをみると、男性では「20～24歳」と「60～64歳」が多く、女性では「70～74歳」も多くなっているものの、「15～19歳」「20～24歳」「60～64歳」も多くなっています。しかし、年々少子高齢化は進行しています。

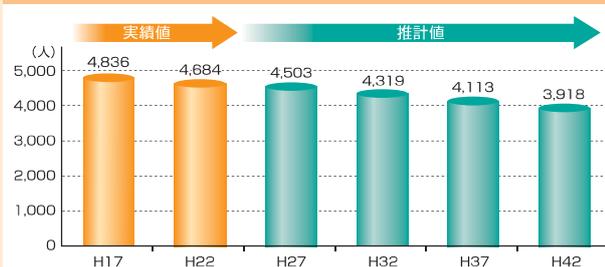
平成17年と平成22年の人口ピラミッドの推移



将来人口の推計

- ・地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成32年には4,319人、平成42年には3,918人となると推計されています。
- ・65歳以上高齢化率も平成32年には37.0%、平成42年には44.4%になると推計されています。

将来人口の推計



年齢構成別人口比率の推計



内海地区の主要課題

課題① 観光業の活性化

これまで内海地区の観光の目玉であった海水浴の客が減少し、観光業は低迷しています。四季を通じて集客を図るために、砂浜等の既存の観光資源の保全に加えて、新たな核となる観光資源の開拓・整備が必要です。また、観光業者だけでなく、漁業者、農業者、商工業者などが連携して観光に取り組んでいく必要があります。

課題② 都市基盤の整ったまちづくり

町の玄関口である内海駅は、エレベーターが設置されていないなど、ユニバーサルな環境整備が求められています。また、南知多からのアクセス道路沿いは地区の玄関口でありながら荒地が多く、景観整備が求められています。区画整理などを通じた若い世代の定住促進のための受皿づくりも課題となっています。内海川及び内海港の整備が求められています。

課題③ 災害に強いまちづくり

内海地区は観光の町であることから、住民は当然のことながら、初めて内海地区を訪れた人も避難しやすい環境整備が求められています。特に、津波一次避難場所までの避難路の整備が課題となっています。

課題④ 教育文化資源の充実・活用

地域には町民会館や郷土資料館など教育・文化施設は充実していますが、町民会館など老朽化への対応と活用方法の検討が必要です。また、子育て施設は十分とは言えない状況です。内田佐七家や寺社など観光資源となりうる歴史文化資源が豊富であり、それらの有効活用が求められています。

課題⑤ 雇用機会の創出

観光業を始め、全体的に産業が低迷していることから、若者が夢を持って働ける雇用の場がなく、近隣市町に通勤している若者が多くなっています。地域の産業活性化のためにも、魅力的な雇用機会を創出することが求められています。

まちづくりの目標

目標 1

四季を通じて
楽しめる
観光のまち

自然や農産物・海産物など、地域にある新たな観光資源を掘り起すとともに、おもてなしの環境・心づくりにつとめ、四季を通じて楽しめる観光のまちをめざします。



目標 2

都市基盤の
整った
にぎわいのある
まち

町の玄関口にふさわしい内海駅周辺の商業地形成を進めるとともに、誰もが利用しやすい内海駅周辺の環境整備を進めます。また、安全・安心な住宅地や道路、河川・港湾整備を進める等、都市基盤の整ったにぎわいのあるまちをめざします。



目標 3

地震・津波に
強い
安全・安心な
まち

観光客も避難しやすい避難タワーや津波一次避難場所の整備、安全に逃げることができる避難路の整備をすすめ、地震・津波に強い安全・安心なまちをめざします。

目標 4

観光を考慮した
教育・文化の
まち

町民会館の活用方法を検討し教育・文化施設の充実を図るとともに、内田佐七家を中心に歴史探訪ゾーンを整備するなど、観光を考慮した教育・文化のまちをめざします。

目標 5

若者に魅力的な
雇用のあるまち

地域内の事業者が業種を超えて連携し、6次産業化による産業の活性化を促進します。そして、6次産業を中心とした若者に魅力的な雇用のあるまちをめざします。



1 四季を通じて楽しめる観光のまち

観光

- 農業観光振興ゾーンの整備** ・休耕地を活用した貸農園など、農業観光振興ゾーンの整備
- 滞在型観光施設の整備**
 - ・滞在型の観光客を増やすため、バンガロー村跡地を活用したキャンプやバーベキューなどができる滞在型観光施設の整備
- イベント施設の整備** ・観光センターを建て替え、音響施設の整ったイベント施設の整備
- 釣り公園の整備** ・気軽に安全に釣りを楽しんでもらうための釣り公園の整備
- 「道の駅」の整備** ・JA等と協力して農産物の直売を行う「道の駅」の整備
- 「海の駅」の整備** ・海産物や土産を販売するような「海の駅」の整備
- マリンスポーツ客向けの環境整備**
 - ・無料のシャワーや更衣室など、マリンスポーツ客が海を楽しみやすい環境の整備
- レクリエーション地区の整備**
 - ・南知多グリーンパレイを中心として、四季を通じて楽しめるレクリエーション地区の整備
- 駐車場の整備** ・護岸整備と合わせた、四季を通じて駐車することができる駐車場の整備
- 内海駅周辺の観光客に向けたサイン整備・観光情報の充実**
 - ・内海駅に着いた観光客が道に迷うことなくまちを楽しめるよう、おもてなしの気持ちを込めた案内板などのサイン整備・観光情報の充実
- 観光客の利用にも配慮した新たな近隣公園の整備**
 - ・内海緑地公園等の近隣公園を観光資源として整備・活用
- 砂浜の保全・美化**
 - ・砂の流出を防ぐための環境整備による砂浜の保全
 - ・美しい砂浜を保全するための海岸保護条例などのルールづくり
- 新たな観光スポットの開拓**
 - ・四季を通じて内海地区に観光に来てもらえるよう、各集落の祭事や砂浜のイルミネーション、オリーブ街道などの海水浴以外の新たな観光スポットの開拓
- 特産品のブランド化**
 - ・他地域との差別化を図り観光の振興に資する南知多町の特産品のブランド化の推進
- 観光情報の発信の充実**
 - ・町観光協会HP「ふらっと南知多」などを活用して、地区のイベントや季節の情報など最新の観光情報の発信強化
- 観光推進体制の整備**
 - ・地区全体での観光まちづくり推進に向けた、観光業や農業や漁業、商工業などの多様な関係者の連携による推進体制の構築

2 都市基盤の整ったにぎわいのあるまち

都市基盤整備

- 人にやさしい内海駅及び周辺地域の環境整備 (内海駅周辺のバリアフリー化の促進)**
 - ・誰もが利用しやすい駅になるよう、エレベーター設置など内海駅のバリアフリー化の推進
- 内海駅周辺のにぎわいづくり**
 - ・内海駅周辺が町の玄関口にふさわしい商業地となるよう、商業施設の集約化やオリーブ街道の活性化などによる観光客にも住民にも便利で魅力的なにぎわいづくり

住宅地整備

- 住宅地の整備(内海第二区画整理) / 都市的な土地利用への転換の可能性を検討**
 - ・内海第二区画整理地区における住宅地の整備
- 安全・安心な住宅地の整備**
 - ・安全・安心な住宅地を整備するため、第二区画整理計画の高台への移転の検討

道路整備

- 🌀 景観に配慮した市街地へのアクセス道路のにぎわいづくり(南知多ICから市街地まで)
 - ・車で内海地区に訪れる観光客にとっての玄関口にあたる南知多ICから市街地までのアクセス道路周辺の景観整備及び規制緩和等による沿道サービスの立地促進
- 🌀 国道247号の整備
 - ・歩道整備等による安全な移動空間づくり
- 🌀 (都)知多西部線の整備 / 🌀 (都)内海通線の整備 / 🌀 (都)河和内海線の整備
- 🌀 (町)内海山海線の整備 / 🌀 広域農道の整備(内海地区は完成)
- 🌀 細街路網の再編・整備(狭隘道路・行き止まり道路の解消)

漁港・河川整備

- 🌀 内海港の老朽化対策 / 🌀 内海川の早期整備

エネルギー

- 🌀 自然エネルギーの誘致
 - ・緑地や遊休地を活用した風力発電などの自然エネルギー発電施設の誘致

集落の再編

- 🌀 地区の集落再編の検討
 - ・現在の地区の状況に応じた集落の再編の検討

3 地震・津波に強い安全・安心なまち

防 災

- 🌀 避難タワーの整備
 - ・内海サービスセンターなどに、観光客にも住民にもわかりやすく避難しやすい避難タワーの整備
- 🌀 避難所を兼ねた文化複合施設の整備
 - ・避難所を兼ねた民俗資料館や図書館、体育館などの文化複合施設の整備
- 🌀 津波一次避難場所及び避難路の整備
 - ・高齢者や車いすでも安心して避難できるよう、避難路の拡幅や舗装の整備、草刈り等の強化
 - ・身近に避難できる新たな津波一次避難場所の整備
 - ・避難場所や避難路を示す案内板などの設置と住民への周知徹底

福 祉

- 🌀 特別養護老人ホーム周辺の維持・保全

4 観光を考慮した教育・文化のまち

教 育・文 化

- 🌀 避難所を兼ねた文化複合施設の整備 ※再掲
 - ・避難所を兼ねた民俗資料館や図書館、体育館などの文化複合施設の整備
- 🌀 歴史探訪ゾーンの整備 (🌀 歴史・文化資源の保全・育成)
 - ・尾州廻船内海船船主内田佐七家を中心として歴史的な寺社が集まるこの地域を、歴史に触れ・学びながら歩くことができるよう、歴史探訪ゾーンとして整備
- 🌀 空き家を活用したアートギャラリーの整備
 - ・芸術家を招き、空き家をアトリエとして提供するとともに、空き家を活用して作品を展示してもらうアートギャラリーを整備
- 🌀 公共施設等の管理運営制度の整備
 - ・公園や施設を地域が主体となって自分たちで管理・運営できるような制度づくり
- 🌀 資料館のPR強化
 - ・資料館にある貴重な資料を有効活用するための資料館のPR強化
- 🌀 梅原邸の環境整備及び活用
 - ・梅原邸(哲学者 梅原猛先生が青少年時代を過ごした家)の保存・活用にむけた家屋及び所蔵品等の整備

5 若者に魅力的な雇用のあるまち

雇 用

- 🌀 6次産業化の促進
 - ・観光業や農業、漁業、商工業などの多様な関係機関の連携による6次産業化の促進及び雇用機会の創出

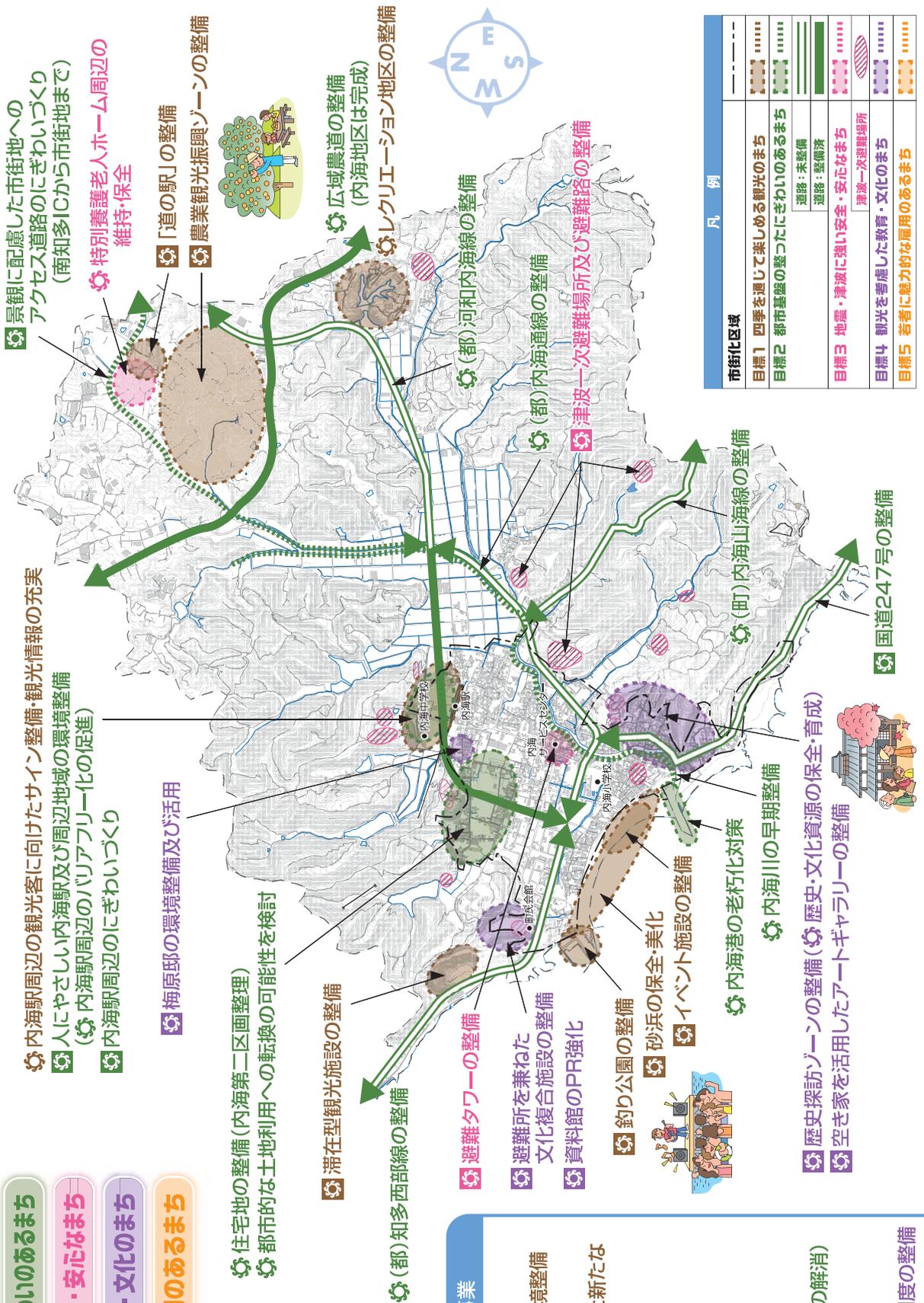
内海地区振興基本計画図

将来像

四季を愛でる 観光のまち

まちづくり目標

- 目標1 四季を通じて楽しめる観光のまち
- 目標2 都市基盤の整ったにぎわいのあるまち
- 目標3 地震・津波に強い安全・安心なまち
- 目標4 観光を考慮した教育・文化のまち
- 目標5 若者に魅力的な雇用のあるまち



凡 例	
市街化区域	-----
目標1 四季を通じて楽しめる観光のまち	
目標2 都市基盤の整ったにぎわいのあるまち	
目標3 地震・津波に強い安全・安心なまち	
目標4 観光を考慮した教育・文化のまち	
目標5 若者に魅力的な雇用のあるまち	
道路：未整備	-----
道路：整備済	-----
津波一歩避難場所	

地図に表示できない事業

- 海の駅の整備
- マリンスポーツ客向けの環境整備
- 駐車場の整備
- 観光客の利用にも配慮した新たな近隣公園の整備
- 新たな観光スポットの開拓
- 特産品のブランド化
- 観光情報の発信の充実
- 観光推進体制の整備
- 安全・安心な住宅地の整備
- 細街路網の再編・整備
(狹隘道路・行き止まり道路の解消)
- 自然エネルギーの誘致
- 地区の集落再編の検討
- 公共施設などの管理運営制度の整備
- 6次産業化の促進

●...住民会議等で提案された事業・取組 ●...既存計画で位置づけられている事業・取組



2. 山海地区

南知多町 山海地区 振興基本計画

発行・編集 ● 南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日 ● 平成25年3月



山海地区の将来像
自然と活力にあふれ
安心して暮らせるまち

計画の趣旨

この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過

地区住民会議を3回開催しました。 第1回 平成24年11月7日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成24年12月12日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成25年1月16日『地域の振興計画案の仕上げ』

山海地区の概況

① 地区の概況

- ・山海地区は国道247号沿いや海岸沿いに市街地が形成されている地区で、名前のとおり山と海の幸が豊富な地区です。
- ・夏には海水浴客でにぎわっています。海水浴場は波が静かで、家族連れに人気です。また、西海岸は若者のサーフスポットとして有名です。さらに、一年を通じて釣りのポイントにもなっています。
- ・地区内には弘法大師が訪れたお寺や、三重塔など、歴史・文化資源も豊富にあります。



人口・世帯の状況（平成22年国勢調査）

総人口	1,168人	0～14歳	104人	高齢化率	32.3%
男性	583人	15～64歳	687人	世帯数	388世帯
女性	585人	65歳以上	377人	平均世帯人員	3.01人/世帯

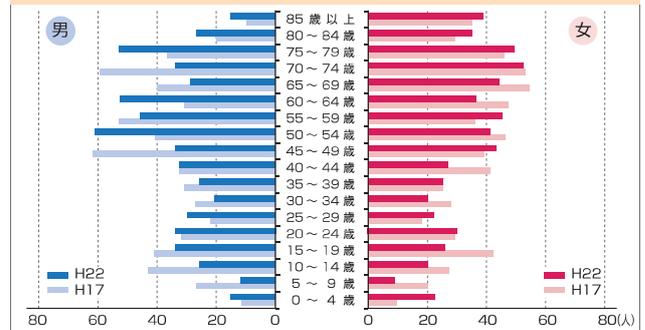
出生数の推移

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
3人	4人	16人	3人	3人

② 地区の人口

- ・地区の人口は1,168人、世帯数は388世帯で、町全体の人口の5.7%を占めています。
- ・年齢別にみると、「0～14歳」が104人、「15～64歳」が687人、「65歳以上」が377人で、65歳以上の高齢化率は32.3%となっており、町全体の高齢化率29.6%よりも高くなっています。
- ・人口ピラミッドをみると、男性では「50～54歳」、女性では「70～74歳」が多くなっていますが、年々少子高齢化が進行しています。

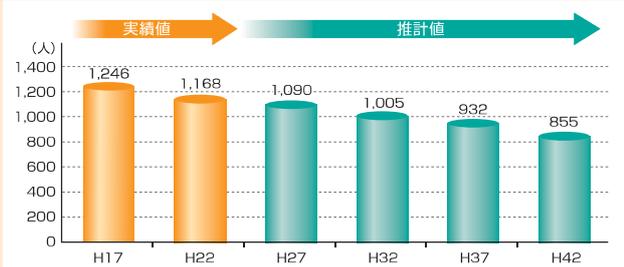
平成17年と平成22年の人口ピラミッドの推移



将来人口の推計

- ・地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成32年には1,005人、平成42年には855人となると推計されています。
- ・65歳以上高齢化率も平成32年には37.3%、平成42年には45.6%になると推計されています。

将来人口の推計



年齢構成別人口比率の推計



山海地区の主要課題

課題① 生活交通の利便性の向上

海っ子バスの本数が少なく、駅が遠いなど車以外の交通利便性が低くなっており、通勤・通学にも影響があります。また、買い物や通院などの生活に必要な交通環境の整備が求められています。

課題② 若者の定住促進

雇用の場が乏しく、通勤・通学環境が悪い、また、住む場所がないなど、若者が町外に流出しています。地域の活力の低下にもつながることから、若者の定住促進が求められています。

課題③ 観光業の活性化

山海地区の大きな観光資源である山海海水浴場の利用者が減少しています。海のイメージが強く、海以外の観光資源や観光客が足を留める商業施設などが少ないことから、新たな観光資源の創出が求められています。また、駐車場等、観光客がゆっくり観光を楽しめるような施設整備が求められています。

課題④ 都市基盤の整備・老朽化への対応

地区内には、低・未利用地や耕作放棄地が多くあるため、その有効活用が求められています。また、高齢化等に伴い、今後も耕作放棄地が増える可能性があるため、その対応が必要です。土地利用や施設整備を検討する際は、住民の意見を取り入れて進めていくことが求められています。安全に安心して通行できる道路整備が必要です。

課題⑤ 災害に強いまちづくり

海岸沿いに住宅が立地する地区もあり、津波による危険性もあります。高地へ行ける道が未整備なところもあり、災害時の避難に不安があることから、安心して避難できる避難路や津波一次避難場所を確保することも必要です。ゲリラ豪雨など大雨の際に河川が氾濫することもあり、早急な河川整備が必要です。

まちづくりの目標

目標 1

若い世代が 住み続けたい まち

若い人たちの意見を聞きながら、通勤・通学がしやすい海っ子バスの利便性の向上や子どもの教育環境の充実、雇用の創出を図ることで、若い世代が住み続けたいまちをめざします。



目標 2

歴史と自然に あふれる 観光のまち

町全体を観光のまちとしてコーディネートする中で、海だけではなく、里山等の緑を生かしたウォーキングコースなどを整備し、地区独自の体験事業を行うなど歴史と自然にあふれる観光のまちをめざします。



目標 3

都市基盤が 整った 安全・安心な まち

現在うまく活用できていない土地について、山海地区にふさわしい土地利用の検討を進めます。また、道路や避難場所などを整備し、都市基盤が整った安全・安心なまちをめざします。

1 若い世代が住み続けたいまち

公共交通

公共交通の充実の検討

- ・通勤・通学時間帯の運行本数の拡大、運行経路やバス停の見直しなど、海っ子バスの充実の検討
- ・乗車人数を考慮した車種や、より住宅の近くを走るルート、デマンドバスの導入など、山海地区にあった公共交通の検討

教育

安全・安心な通学環境の整備

- ・子ども達が安全・安心に通学することができる自転車通行帯の整備

学童保育のスペースの充実

- ・利用しやすい学童保育にするための学童保育スペースの充実

子育てしやすい環境の整備

- ・スクールバスなどを活用した通園時の移手段の確保

雇用

若い人の雇用の確保

- ・若い人の雇用を確保するための企業誘致、地場産業の活性化

その他

若い人たちの意見を聞く場の設置

- ・これからの山海地区の担い手である若い人たちの意見を聞くための場の設置

山海ふれあい会館を活用した地区集会所の整備

- ・地域の中心部に位置する山海ふれあい会館(旧山海小学校)を地区全体が集まれる集会所として整備

2 歴史と自然にあふれる観光のまち

観光

観光交流ゾーンの整備 (観光交流ゾーンの整備)

- ・岩屋寺を中心とした歴史的な観光交流ゾーンや、砂浜を中心とした海沿いの観光交流ゾーンの整備

日本一の桜並木の整備

- ・(県)岩屋観音線に沿って日本一の桜並木を整備

護岸の遊歩道化の要望

- ・観光資源として活用するため、県が整備予定の護岸の遊歩道化を県に提案・要望

自然的景観と調和した観光商業施設の整備

- ・内海から山海までの国道247号沿線に、新しく観光商業施設を整備する際は自然的景観と調和するように配慮して整備

宿泊施設、観光客向け店舗等の誘致

- ・宿泊客、観光客が気軽に食事ができる場やお土産を買うことができる場の整備と、店舗の誘致

町全体の観光コーディネート推進

- ・地区を超えた南知多町全体の観光コーディネートの推進
- ・地引き網体験、農業体験など体験事業の充実と、町全体で体験事業を取りまとめる体制・事務区の整備

魅力づくりボランティア隊の整備

- ・自然の良さを守り、山海地区の魅力づくりを主体的に進める魅力づくりボランティア隊の整備

自然

豊かな自然と親しめる場の整備 (豊かな自然と親しめる場の整備)

- ・丘陵部の植林地や自然環境、荒地を活用し、農業体験施設・市民農園、ドッグラン、子どもが走り回ることができる公園など、豊かな自然と親しめる場を整備
- ・山チゴ池周辺へのアスレチックの整備

植林地・自然環境の維持・保全 (樹林地・自然環境の維持・保全)

- ・丘陵部の植林地や自然環境を維持・保全

ウォーキングコースの整備

- ・観光客も地域住民も利用できるウォーキングコースと、歩いて楽しい距離などを示した看板や観光スポットの案内版、休憩所を他地区と連携して一体的に整備

ハイキングコースの整備

- ・かつての古道を活用した豊かな自然の中を歩くハイキングコースと、見晴らし台の整備

マリンスポーツ客の受け入れ環境整備

- ・マリンスポーツ客の受け入れに関する方針・ルールづくり
- ・マリンスポーツ客のニーズを把握し、利用しやすい海岸に向けた、駐車場やシャワー設備などの環境整備

山海の観光マップの作成

- ・海以外の観光資源もわかりやすいように、山海地区の観光ポイントとなる魅力的な資源を載せた観光マップを作成

3 都市基盤が整った安全・安心なまち

市街地整備

市街化区域内の低未利用地における都市基盤の早急な整備

- ・市街化編入した土地を有効活用するための土地利用規制の緩和
- ・都市基盤整備を進めるための仕組みの検討

地区計画などによる都市的土地利用への転換の検討

- ・地域にふさわしいまちづくりを進めるため、みんなで合意を図りながら土地利用について検討

耕作放棄地を手放すための支援制度の構築

- ・耕作放棄地を有効活用するため、土地の譲渡手続きなどの支援制度の整備

施設整備のルールづくり

- ・新たな施設の整備にあたってのルールづくり

地域の商業を守る取組みの推進

- ・地域の商業を守るため、住民が積極的に地域の商業施設を利用する取組みの推進

住宅整備

週末居住や二地域居住の促進

- ・リゾートマンションに周辺の遊休農地なども組み合わせて、週末居住や二地域居住による定住・交流人口の増加を促進

道路整備

細街路の再編・整備(狭隘道路の解消) / 広域農道の整備

(県)岩屋観音線の整備(拡幅、ガードレール・歩道などの設置)

(町)内海山海線の整備(拡幅等の機能強化)

(県)奥田内福寺南知多線の整備(拡幅等の機能強化)

漁港・河川整備

農業用排水路の整備 / 山海漁港の漁港施設老朽化対策

山海川の早期整備(堤・川幅等の改修)

- ・ゲリラ豪雨にも対応できる護岸の整備と、堤防の長寿命化

防 災

津波一次避難場所及び避難路の整備

- ・身近に避難できる新たな津波一次避難場所の整備
- ・すべての津波一次避難場所に車で避難できるよう避難路の拡幅や舗装の整備、草刈り等の強化
- ・避難場所や避難路を示す案内板などを設置し、住民への周知徹底

植林地の土砂災害などの対策

- ・土砂災害による被害を防ぐため、植林地に必要な施設を整備

3. 豊浜地区

南知多町 豊浜地区 振興基本計画

発行・編集 ● 南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日 ● 平成 25 年 3 月



豊浜地区の将来像
自然と伝統を守り、安全・安心に
楽しく暮らせる活力あるまち

計画の趣旨

この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過

地区住民会議を3回開催しました。 第1回 平成 24 年 10 月 29 日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成 24 年 12 月 3 日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成 25 年 1 月 21 日『地域の振興計画案の仕上げ』

豊浜地区の概況

① 地区の概況

- 豊浜地区は、県下第一位の水揚げ量を誇る豊浜漁港があります。また、内陸部には地場産業であるプラスチック工業団地が形成され、国道 247 号沿道を中心に多数の商業施設が立地しています。
- 町役場、町総合体育館などの主要公共施設も立地し、病院や医院も近く、救急や消防の体制も整っています。
- 港には海産物市場があり、観光客でにぎわっています。また、勇壮な奇祭の鯛まつりをはじめ、盆踊り、万葉集に謳われた史跡、貴重な建造物や仏像のある寺院、古いまち並みなどの歴史・文化資源が豊富にあります。



人口・世帯の状況（平成 22 年国勢調査）

総人口	4,642 人	0～14 歳	414 人	高齢化率	29.1%
男性	2,196 人	15～64 歳	2,870 人	世帯数	1,681 世帯
女性	2,446 人	65 歳以上	1,349 人	平均世帯人員	2.76 人/世帯
		年齢不詳	9 人		

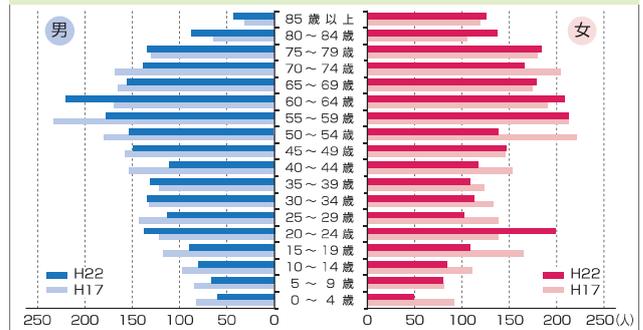
出生数の推移

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
25 人	27 人	28 人	29 人	27 人

② 地区の人口

- 地区の人口は 4,642 人、世帯数は 1,681 世帯で、町全体の人口の 22.6% を占めています。
- 年齢別にみると、「0～14 歳」が 414 人、「15～64 歳」が 2,870 人、「65 歳以上」が 1,349 人で、65 歳以上高齢化率は 29.1% となっており、町全体の高齢化率 29.6% よりもわずかながら低くなっています。
- 人口ピラミッドをみると、男性では「60～64 歳」、女性では「55～59 歳」、「60～64 歳」、「20～24 歳」が多くなっていますが、年々少子高齢化が進行しています。

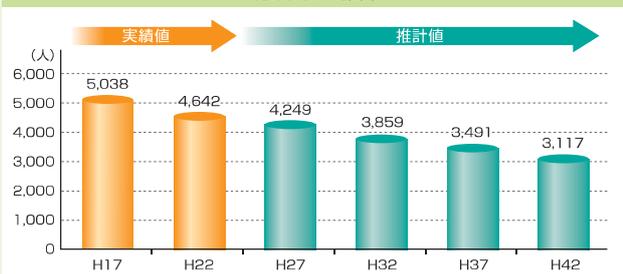
平成 17 年と平成 22 年の人口ピラミッドの推移



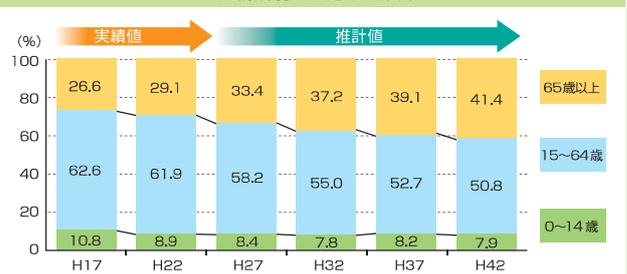
将来人口の推計

- 地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成 32 年には 3,859 人、平成 42 年には 3,117 人となることが推計されています。
- 65 歳以上高齢化率も平成 32 年には 37.2%、平成 42 年には 41.4% になることが推計されています。

将来人口の推計



年齢構成別人口比率の推計



豊浜地区の主要課題

課題① 道路・交通アクセスの充実

大井豊浜線をはじめ、地区内には狭い道路が多く、また歩道が設置されている道路も少ないため、安心して通行できる道路にしていく必要があります。また、海っ子バスも運行本数が少ないことから、通学などに利用しやすいように充実していくことも必要です。

課題② 災害に強いまちづくり

海岸沿いに住宅が立地する地区もあり、津波による危険性もあります。また狭い道路も多く、災害時に通行ができなくなることも予想されることから、安心して避難できる避難路や津波一次避難場所を確保することも必要です。

課題③ 子育てしやすい環境づくり

核家族化の増加で多世代での交流が少なくなっています。また、共働き家族が増加してきており、保育所や学童保育の充実が求められます。

課題④ 里山の有効活用

地区内には手入れされていない樹林地や農地が増加していることから、これらを手入れしながら景観保全するとともに、観光資源などとして有効に活用していくことが求められます。

課題⑤ 産業の活性化

農漁業をはじめとした産業が低迷し、雇用の場も少ないことから若者を中心に町外へ流出しています。農漁業、商業、工業、観光が連携して産業の活性化を図ることが必要です。

課題⑥ 鯛まつりの活性化

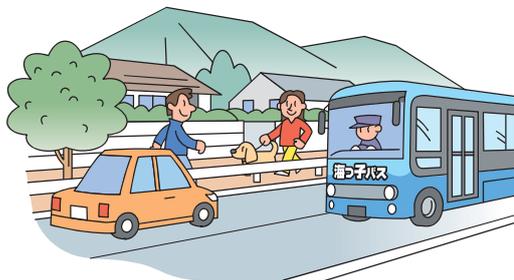
天下の奇祭として毎年7月下旬に鯛まつりが開催されていますが、担ぎ手が不足していたり、祭り当日に店が閉まっていたり、駐車場が不足したりしており、神事として守りつつ、各地区で連携し、観光向けの取り組みもしていくことが必要です。

まちづくりの目標

目標 1

災害に強く
利便性の
高いまち

役場前道路や(都)大井豊浜線などの道路整備や海っ子バスの充実を図るとともに、津波一次避難場所や避難路を整備し、安全・安心に暮らせる災害に強く利便性の高いまちをめざします。



目標 2

心豊かな
子どもを
育むまち

子育てがしやすいよう、学童保育等の整備を進めるとともに、世代間の交流を進めるためのサロンの設置などをしながら、地区内で心豊かな子どもを育むまちをめざします。

目標 3

里山・里海を
生かした
観光のまち

富士ヶ根公園や貝がら公園を新たな観光地として並木や散策路を整備するとともに、農地等を有効活用して観光農園や貸農園などを整備するなど、里山・里海を生かした観光のまちをめざします。

目標 4

地場産業の
元気なまち

定住対策と雇用の場の確保に向けて、石之浦埋立地を活用し、農漁業、工業、商業、観光が連携した観光レクリエーション拠点を整備するとともに、新たな工業団地の整備など、地場産業の元気なまちをめざします。

目標 5

祭りでの
にぎわう
まち

鯛みこしの担ぎ手を確保するなど、祭礼の保存を図るとともに、まつりを生かした観光振興に向けた取り組みを実施し、祭りでのにぎわうまちをめざします。



1 災害に強く利便性の高いまち

道路整備

-  **国道247号の整備(歩道整備、埋立地における路線の一部変更)**
 - ・観光客がゆっくりと散策できるように国道247号の沿岸部分に歩道の設置
 - ・石之浦埋立地における路線の海側への一部変更
-  **広域農道へのアクセス道路の整備**
 - ・新たな工業団地等や観光農園等の整備に合わせ、広域農道からのアクセス道路の整備
-  **役場前道路((都)豊丘豊浜線)の整備** /  **沿道複合地区の形成**
 - ・(都)豊丘豊浜線の整備と、新たに国道247号まで接続する道路の延伸
-  **(都)大井豊浜線の整備**
 - ・保育所への送迎などにも支障をきたさないような幅員のある道路整備
-  **広域農道の早期全線整備**

公共交通

-  **海っ子バスの充実**
 - ・海っ子バスの運行本数やダイヤ、運賃等の見直しによる学生等の利用のための利便性向上

防災対策

-  **津波一次避難場所及び避難路の整備**
 - ・高齢者や車いすでも安心して避難できるよう、避難路の拡幅や舗装の整備、草刈り等の強化
 - ・身近に避難できる新たな津波一次避難場所の整備
 - ・避難しやすいように避難場所や避難路を示す案内板などの設置と住民への周知徹底
-  **防災上危険な場所の改善**
 - ・がけ崩れの危険性のある場所、放置されたままの空き家などの改修、撤去
-  **鳥居川(準用河川)の改修** /  **高浜谷川(準用河川)の改修**
 - ・水害等による被害を未然に防ぐため準用河川の鳥居川、高浜谷川の河川改修

住宅

-  **新たな住宅地の整備**
 - ・定住者を確保するとともに、津波からの被害を免れるため、国営農地開発事業地内農地等の高台において新たな住宅地の整備
-  **空き家の有効活用**
 - ・古民家などの空き家や古いまち並みを保存・活用して、若い家族の定住のための住まいの確保

2 心豊かな子どもを育むまち

子育て支援

-  **保育所の移転・整備**
 - ・安全でアクセスしやすい場所への保育所の移転
-  **学童保育と高齢者のサロンの実施**
 - ・子どもと高齢者の交流促進のため、既存のサロン活動の充実及びPR強化
 - ・余裕教室などを活用した学童保育と高齢者の居場所となるサロンの実施

小中学校

-  **小中学校の統合・整備**
 - ・子どもの向上心や社会性、協調性を育むための小中学校の統合・整備

高齢福祉の充実

-  **高齢者向け施設の整備**
 - ・高齢者の自立した生活を支えるため、老人憩いの家などの既存施設の有効活用及び新たな施設整備

3 里山・里海を生かした観光のまち

観 光

🌀 貸農園・観光農園、体験学習の場の整備

・遊休農地を活用し、地域の元気な高齢者や町外者に貸し出すことができるコテージ付きの貸農園、果実等のもぎ取りなどの体験ができる観光農園、里山の遊びを伝える体験学習の場などの整備

🌀 「道の駅」などの観光レクリエーション拠点の整備（🌀 産業観光エリアの整備）

・石之浦埋立地に農漁業、工業、商業、観光業が連携し、地域の農産物、海産物などを販売する物販施設やまつり・マーケットなどを行うイベント広場、駐車場等を備えた道の駅の整備
・魚ひろばを拡張し、地域の農産物、海産物などの特産品を味わうことができる飲食施設の整備

🌀 人工砂浜の整備

・石之浦埋立地に潮干狩りや海水浴、地引き網、プレジャーボートなどを楽しむことができる人工砂浜の整備

🌀 貝がら公園を活用した観光まちづくり（トイレ、アクセス道路、散策道の整備）

・貝がら公園の公衆トイレやアクセス道路の改修、富士見台展望台の整備等、貝がら公園から富士ヶ根公園、石之浦、中洲港などをつなぐ散策道の整備
・散策道の沿線の魅力化を図るために、果樹園や並木などの整備
・魅力的な地域としていくため、環境美化条例等を制定して日本一ごみのない地域としていく取り組みや各種ハイキングイベントの誘致、観光魅力を向上し、発信するための取り組みの実施

🌀 水産試験場のリニューアルとPR

・水産試験場を観光資源等として有効活用するため、広く研究内容等をPRしつつ、子どもたちの社会科見学の受け入れなどの観光資源としてのリニューアルの促進

公 園

🌀 津波一次避難場所を兼ねた富士ヶ根公園の整備

・津波一次避難場所を兼ねた新たな観光資源として、富士ヶ根公園の公衆トイレ、アクセス道路等の改修、展望台や桜並木などの整備

4 地場産業の元気なまち

産 業 振 興

🌀 工業団地の整備（🌀 プラスチック工業団地周辺の保全・整備及び新たな工場の立地誘導）

・新たな雇用の場を確保するため、プラスチック工場団地や石之浦埋立地に、国営農地開発事業地内農地等の未利用地における新たな工業団地等の整備

🌀 既存の中小企業支援

・住民の雇用の場として地域経済を支えている既存の中小企業を支援する優遇措置等の検討

漁 業

🌀 水産加工業や漁業関連施設、倉庫等の集積及び漁港施設の老朽化対策

・漁業や水産加工業の発展に向けて、漁業関連施設や倉庫等の集積を図るとともに、老朽化した漁港施設を計画的に修繕

5 祭りでのぎわうまち

祭礼の保全と活用

🌀 鯛まつり記念館の整備

・鯛まつりの道具、映像などをいつでも見ることができ、学習することができる展示・学習施設としての鯛まつり記念館の整備

🌀 鯛まつりの魅力づくり

・鯛まつりの魅力化に向けて、ライトアップやイルミネーションの実施や、観光客等がゆっくりまつりを楽しめるように観覧席等の設置
・鯛まつりに合わせ、鯛を使った料理コンテストなどの各種イベント等の実施

豊浜地区振興基本計画図

将来像

自然と伝統を守り、安全・安心に
楽しく暮らせる活力あるまち

まちづくり目標

目標1 災害に強く利便性の高いまち

目標2 心豊かな子どもを育むまち

目標3 里山・里海を生かした観光のまち

目標4 地場産業の元気なまち

目標5 祭りでのにぎわうまち

地図に表示できない事業

- 海つ子バスの充実
- 防災上危険な場所の改善
- 空き家の有効活用
- 保育所の移転・整備
- 小中学校の統合・整備
- 高齢者向け施設の整備
- 既存の中小企業支援
- 鯛まつりの魅力づくり

広域農道の早期全線整備
(豊浜地区は完成)

役場前道路((都)豊丘豊浜線)の整備 / 沿道複合地区の形成



貸農園・観光農園、体験学習の場の整備

広域農道へのアクセス道路の整備

新たな住宅地の整備

工業団地の整備

プラスチック工業団地周辺の保土・整備及び
新たな工業の立地誘導

(都)大井豊浜線の整備

鳥居川(準用河川)の改修

高浜谷川(準用河川)の改修



津波一次避難場所及び避難路の整備

貝から公園を活用した観光まちづくり
(トイレ、アクセス道路、散策道の整備)

人工砂浜の整備

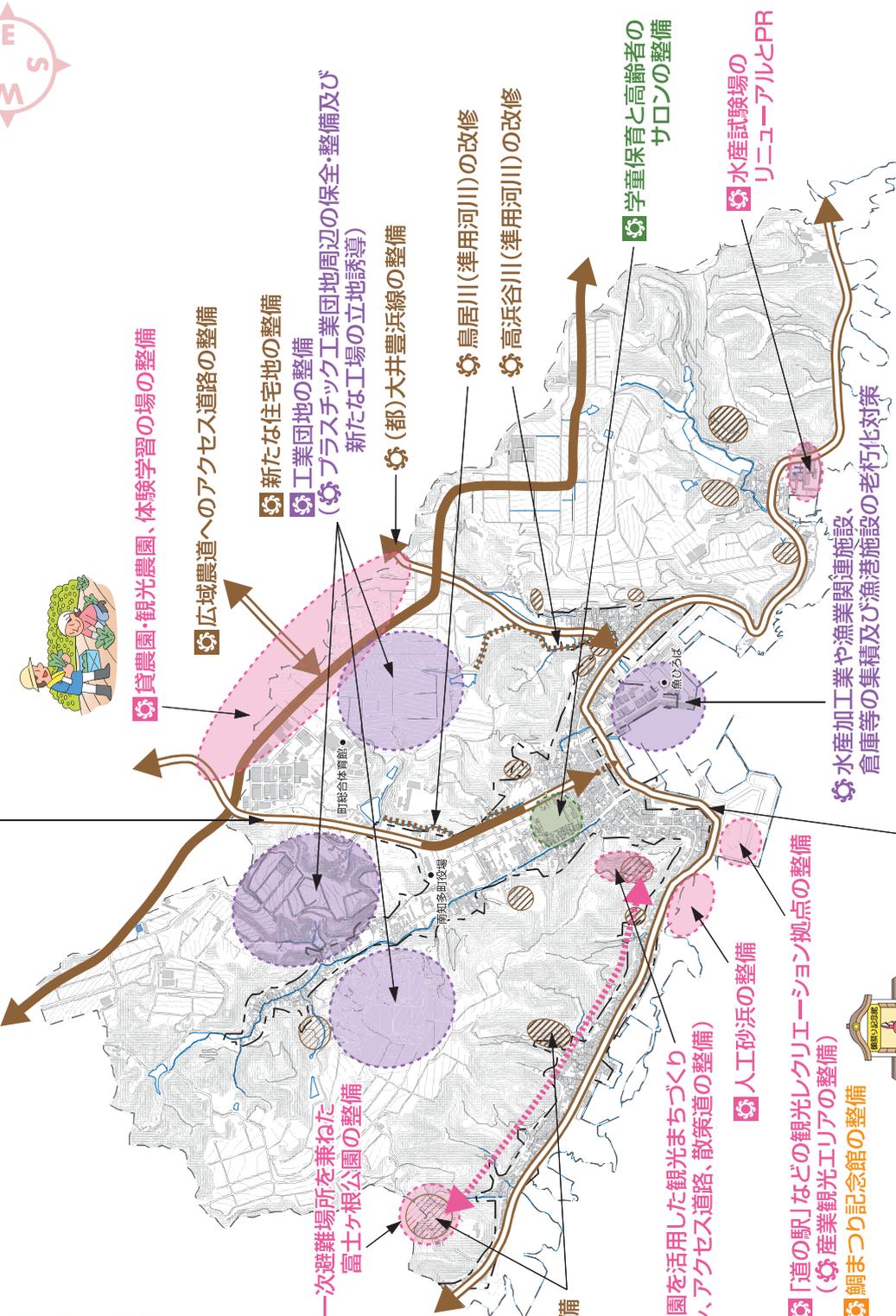
「道の駅」などの観光レクリエーション拠点の整備
(産業観光エリアの整備)

鯛まつり記念館の整備



水産加工業や漁業関連施設、
倉庫等の集積及び漁港施設の老朽化対策

国道247号の整備
(歩道整備、埋立地における路線の一部変更)



市街化区域

市街化区域	凡例
目標1 災害に強く利便性の高いまち	道路：茶色 道路：緑色 津波一次避難場所
目標2 心豊かな子どもを育むまち	公園
目標3 里山・里海を生かした観光のまち	観光
目標4 地場産業の元気なまち	産業
目標5 祭りでのにぎわうまち	祭り



…住民会議等で提案された事業・取組
…既存計画で位置づけられている事業・取組

4. 豊丘地区

南知多町 豊丘地区 振興基本計画

発行・編集●南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日●平成25年3月



豊丘地区の将来像

住みやすい生涯現役のまち 豊丘

計画の趣旨

この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過

地区住民会議を3回開催しました。第1回 平成24年11月14日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成24年12月5日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成25年1月17日『地域の振興計画案の仕上げ』

豊丘地区の概況

① 地区の概況

- 豊丘地区は、南知多道路の豊丘インターが設置されており、広域交通の利便性が高い地域です。
- 豊丘インター近くの街道沿いには、約200万本ものコスモスが植えられており、「花ひろば」には菜の花、ポピー、ポーチュラカなど季節の花が植えられており、季節の色合いと香りを楽しむことができます。また、三河湾に面する乙方・山田海岸では、潮干狩りが楽しめます。
- 地区内には特別養護老人ホームや授産施設などの福祉施設や医療機関も立地しています。



人口・世帯の状況（平成22年国勢調査）

総人口	1,288人	0～14歳	112人	高齢化率	34.5%
男性	618人	15～64歳	732人	世帯数	315世帯
女性	670人	65歳以上	444人	平均世帯人員	4.09人/世帯

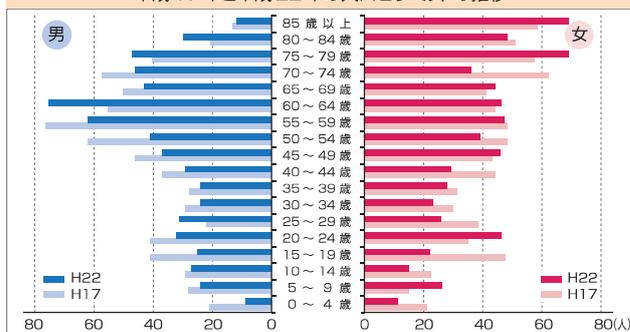
出生数の推移

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
2人	6人	3人	2人	9人

② 地区の人口

- 地区の人口は1,288人、世帯数は315世帯で、町全体の人口の6.3%を占めています。
- 年齢別にみると、「0～14歳」が112人、「15～64歳」が732人、「65歳以上」が444人で、65歳以上高齢化率は34.5%となっており、町全体の高齢化率29.6%よりも高くなっています。
- 人口ピラミッドをみると、男性では「60～64歳」、女性では「75～79歳」、「85歳以上」が多くなっており、年々少子高齢化が進行しています。

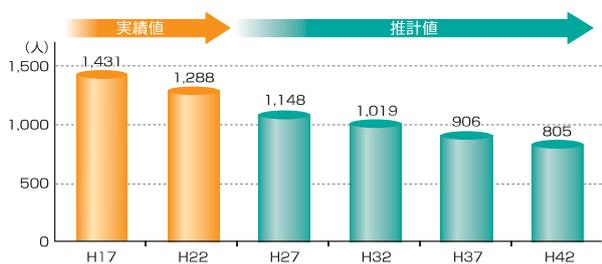
平成17年と平成22年の人口ピラミッドの推移



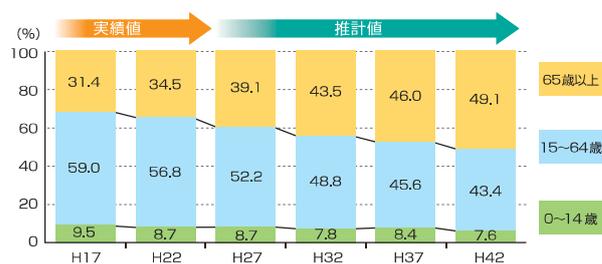
将来人口の推計

- 地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成32年には1,019人、平成42年には805人となることが推計されています。
- 65歳以上高齢化率も平成32年には43.5%、平成42年には49.1%になることが推計されています。

将来人口の推計



年齢構成別人口比率の推計



豊丘地区の主要課題

課題① 人口減少対策

年々、人口が減少し、少子高齢化も進んでいることから、若者が町外へ流出しないようにするとともに、新たに町外からの移住促進を図り、人口の維持に努めていくことが必要です。

課題② 豊丘むくろじ会館の有効活用

旧豊丘小学校である豊丘むくろじ会館は児童用図書室や図書閲覧室、会議室、資料室として施設利用しているだけであり、老若男女が利用できる施設として有効に活用していくことが必要です。

課題③ 新運動公園の有効活用

新運動公園周辺は高台であり、安全性が高い地域です。また、グラウンドやテニスコート、特別養護老人ホームあい寿の丘などがあり、これらを中心として、福祉、スポーツ・文化、教育などの拠点として有効に活用していくことが必要です。

課題④ 観光資源の有効活用

地区内には海岸、里山、農地など多様な環境があり、知多八十八か所の仏閣、スポーツ・文化施設なども充実しています。また、「花ひろば」をはじめ、イチゴ狩り、潮干狩りなどを楽しめるスポットやホテルが生息する場所があります。これらの魅力的な資源を観光資源として有効に活用していくことが必要です。

課題⑤ 農業の活性化

農業者の高齢化や産業としての低迷などから担い手等が不足するとともに、耕作放棄地も増加しています。農業や農産物を観光資源として活用したり、耕作放棄地を有効に活用し、農業を活性化していくことが必要です。

まちづくりの目標

目標 1

**みんなが
住みたくなる
快適なまち**

安全・安心に通行できる道路整備や住宅地の整備を進め、交通アクセスを充実させるとともに、既存施設を有効に活用しながら、子どもからお年寄りまでが暮らしやすい、みんなが住みたくなる快適なまちをめざします。



目標 2

**地域資源を
生かした
観光のまち**

地区内の自然、歴史、文化的な資源を保全するとともに、地域内の資源を楽しむことができる散策ルートを整備するなど、地域資源を生かした観光のまちをめざします。



目標 3

**農を
生かした
まち**

耕作放棄地などを有効に活用し、産直施設や観光農園など、農に親しめる観光農園ゾーンを整備するとともに、付加価値の高い農業を展開できる環境を整備し、農を生かしたまちをめざします。

1 みんなが住みたくなる快適なまち

住環境の整備

生活道路の拡幅

- ・馬道から体育館、農協、県道に至る道路などへの歩道の整備
- ・住宅の近くまで車で入れるよう、生活道路の拡幅整備を進めるための制度の検討
- ・生活道路の拡幅整備

住宅地の整備

- ・若い世帯などが住宅を建てられるよう、空き家跡地などを活用して、新規住宅用地の整備

家庭菜園付の別荘地の整備

- ・高台にある農地を宅地化し、家庭菜園付の別荘が建てられるように整備
- ・安全で自然に恵まれた住宅地としてアピール

新市街地の整備

- ・商業施設などの生活利便施設を誘致した新市街地の整備

街路灯の整備

- ・安全・安心に通行できるように、生活道路への街路灯の整備

空き家対策

- ・地域の環境を保全し、空き家・空き地を有効活用するため、空き家条例の検討
- ・都市住民の移住を進めるため、空き家バンク制度の活用

公共交通

海っ子バスの充実

- ・通勤・通学しやすい、生活しやすい交通環境に向けた、海っ子バスの増便や運行時間帯、学生の運賃割引等の検討

道路整備

(都)知多東部線の整備

主要地方道半田南知多公園線の整備(四車線化)

広域農道の早期整備(豊丘地区は完成)

歩道設置事業(県道豊丘豊浜線)

広域農道へのアクセス道路の整備

市街地整備

土地利用規制の緩和

- ・町内企業の流出を防止するとともに、地区全体の適切な土地利用を促すための土地利用規制の緩和

福祉・教育

保育所・小中学校の統合・整備 (福祉・教育ゾーン)

- ・福祉・教育ゾーンの拠点として、津波対策・避難所を兼ねた保育所・小中学校の統合・整備

防 災

津波一次避難場所及び避難路の整備

- ・豊丘むくろじ会館等の慣れた場所で身近に避難できる新たな津波一次避難場所の整備
- ・高齢者や車いすでも安心して避難できるように、避難路の拡幅や舗装の整備、草刈り等の強化
- ・避難しやすいよう、避難場所や避難路を示す案内板などの設置と住民への周知徹底

施設・拠点整備

豊丘むくろじ会館を活用した周辺整備

- ・豊丘むくろじ会館の活用方法の検討

仮の保育所

地域住民が講座を開いたり、趣味を披露できる生涯学習の場

喫茶店やスナックなど、地域住民が集い憩えるような交流拠点

観光案内所、郷土資料館など、観光的な施設

キャンプなどができる施設、スポーツ施設

子どもから大人まで、食と農が学べる百姓学校ができるような宿泊環境も整った施設

- ・地域の雇用を生み出し、集客施設とするため、豊丘むくろじ会館の企業への貸し出し

☞ 子どもの遊び場の整備

- ・豊丘むくろじ会館周辺の乃木山で、子ども達がどろんこ遊びや木のぼり等の自然遊びができるアスレチックの整備
- ・豊丘むくろじ会館周辺の草刈りなどの管理体制の構築

☞ 乃木山展望台の整備

- ・御岳山や富士山を眺めるための乃木山展望台を、豊丘むくろじ会館周辺の乃木山に整備

☞ 住民が利用しやすい公共施設の管理制度の構築

- ・地域住民が、豊丘むくろじ会館や憩いの家などの公共施設を利用しやすくなるような管理制度の構築

2 地域資源を生かした観光のまち

観光施設整備

☞ 観光開発ゾーン

- ・観光開発ゾーンの拠点として、産直施設や潮干狩りなどの体験型観光施設、農産物、海産物をその場で楽しめるバーベキュー場やレストランの整備
- ・来客のための駐車場の整備

☞ 散策ルートづくり(海岸や河川などの水辺空間等を活用した散策ルートの整備)

- ・知多八十八カ所のお寺など豊富な歴史資源をつなげて、地元の人も散歩できるような散策ルートの整備
- ・散策ルート沿いに、季節ごとに楽しめる花畑と、散策しやすいサイン・道路の整備
- ・既存の施設や民間の施設などを活用した、散策者が利用できる休憩所やトイレの整備

☞ レンタサイクル施設の設置

- ・地域内を気軽に回ることができるよう、レンタサイクル施設の設置とレンタサイクル事業の実施

環境保全

☞ 里山、ホテルの保全 (☞ 樹林地の保全)

- ・ホテルを守るため、里山の維持管理

3 農を生かしたまち

観光農業の推進

☞ 観光農園ゾーン (☞ 農業振興ゾーン)

- ・観光農園ゾーンの拠点として、味覚狩りや体験農業、工芸体験などができるような施設の整備
- ・味覚狩りや体験施設に訪れた観光客が、生産者と交流できるような産直施設の整備

☞ 観光農業等新規就農者の誘致

- ・観光農業などへの、新規就農者の誘致

豊丘地区振興基本計画図

将来像

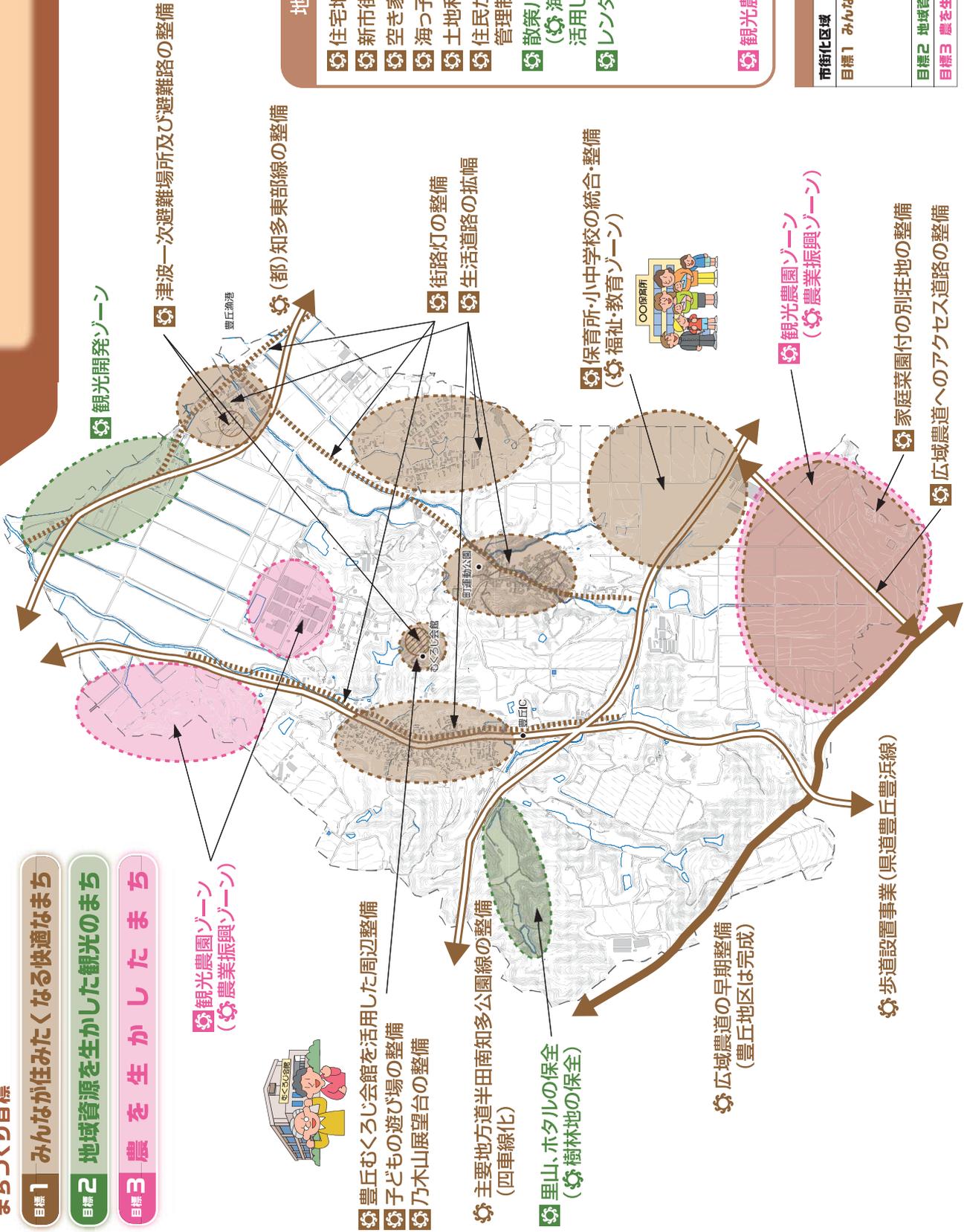
住みやすい 生涯現役のまち 豊丘

まちづくり目標

目標1 みんなが住みたくなる快適なまち

目標2 地域資源を生かした観光のまち

目標3 農を生かしたまち



地図に表示できない事業

- 🏠 住宅地の整備
- 🏡 新市街地の整備
- 🏠 空き家対策
- 🚌 海っ子バスの充実
- 🏠 土地利用規制の緩和
- 🏠 住民が利用しやすい公共施設の管理制度の構築
- 🚶 散策ルートづくり (海岸や河川などの水辺空間を活用した散策ルートの整備)
- 🚲 レンタサイクル施設の設定



🏠 観光農業等新規就農者の誘致

市街化区域	
目標1 みんなが住みたくなる快適なまち	道路：未整備 道路：整備済 津波一次避難場所
目標2 地域資源を生かした観光のまち	
目標3 農を生かしたまち	

5. 大井地区

南知多町 大井地区 振興基本計画

発行・編集●南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日●平成25年3月



大井地区の将来像
自然・歴史・文化がとけあい
健やかに暮らせるまち

計画の趣旨

この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過

地区住民会議を3回開催しました。 第1回 平成24年11月6日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成24年12月11日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成25年1月29日『地域の振興計画案の仕上げ』

大井地区の概況

① 地区の概況

- ・大井地区は、古くからの港町です。
- ・大井漁港を望む聖崎の海には弘法大師上陸像(上陸大師像)が建っており、地域のシンボルとなっています。
- ・地区内には本格的な釣りができる釣り堀や、潮干狩り場もあります。



人口・世帯の状況（平成22年国勢調査）

総人口	1,964人	0～14歳	219人	高齢化率	25.5%
男性	984人	15～64歳	1,244人	世帯数	705世帯
女性	980人	65歳以上	501人	平均世帯人員	2.79人/世帯

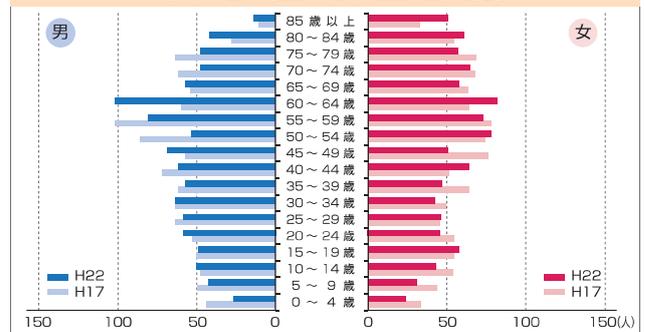
出生数の推移

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
8人	12人	8人	6人	14人

② 地区の人口

- ・地区の人口は1,964人、世帯数は705世帯で、町全体の人口の9.6%を占めています。
- ・年齢別にみると、「0～14歳」が219人、「15～64歳」が1,244人、「65歳以上」が501人で、65歳以上高齢化率は25.5%となっており、町全体の高齢化率29.6%よりも低くなっています。
- ・人口ピラミッドをみると、男性では「60～64歳」、女性でも「60～64歳」が多くなっており、年々少子高齢化が進行しています。

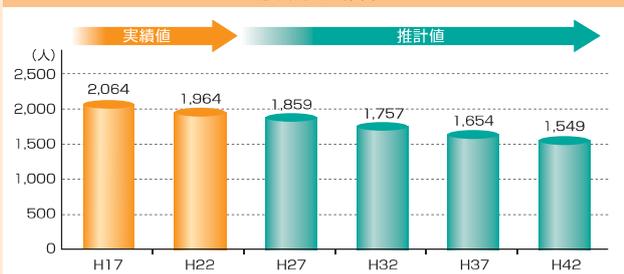
平成17年と平成22年の人口ピラミッドの推移



将来人口の推計

- ・地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成32年には1,757人、平成42年には1,549人となることが推計されています。
- ・65歳以上高齢化率も平成32年には32.7%、平成42年には36.3%になることが推計されています。

将来人口の推計



年齢構成別人口比率の推計



大井地区の主要課題

課題① 産業の活性化

聖崎公園などの豊富な歴史・文化資源、海産物などの魅力的な地域資源が十分に活用されていないことから、環境整備やPR強化、ネットワークづくりを進めて集客に役立てることが課題です。農業生産機能の増進や遊休農地の活用とともに、優れた田園風景を守り育てていくことが求められます。既存の店舗や工場、漁業関連施設等を生かした商工業や漁業の集積、活性化が求められます。

課題② 文化施設の整備

天神山遺跡など、貴重な史跡を的確に保全し、後世に引き継いでいくことが不可欠です。子どもたちのふるさとへの愛着を育むとともに、観光客にも買物や休憩を兼ねて地域の魅力を知ってもらえるような体験型の文化交流施設の整備が求められます。

課題③ 健康づくり

美しい景観や歴史資源等を楽しみながら、ウォーキングやランニングなどを行えるルートづくりや、健康づくりに使える公園の整備などが求められます。高齢化とともに、高齢者が安心して暮らせるような終の棲家が必要とされています。

課題④ 安全・快適な住環境づくり

大雨や台風による高潮などの浸水被害などが増加しているとともに、津波の被害も懸念されることから、住民の命を守るための早急な災害対策が課題です。災害に備えて、日頃から地域ぐるみの自主防災体制の構築や防災訓練などにより地域の防災力を高めておく必要があります。街路灯の整備が不十分であるために、夜間は暗くて危険な道路が既存市街地内などで多いことから、安心して外出・移動できる環境づくりが求められます。

まちづくりの目標

目標 1
歴史と
四季折々の
魅力が
楽しめるまち

目標 2
地場産業の
元気なまち

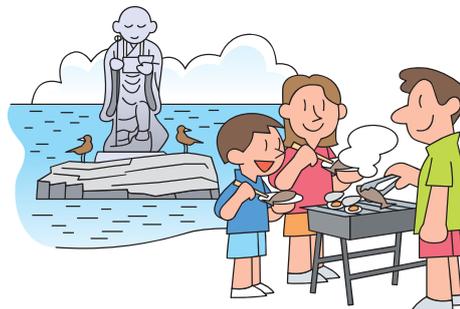
目標 3
文化的な
暮らしが
楽しめるまち

目標 4
健康に
いきいきと
暮らせるまち

目標 5
基盤の整った
快適なまち

目標 6
安心して
暮らせるまち

聖崎公園を核とした様々な地域の自然や歴史・文化資源を生かして、子どもや親子、高齢者など多様な観光客が楽しめるような環境を整備し、交流とにぎわいのあるまちをめざします。

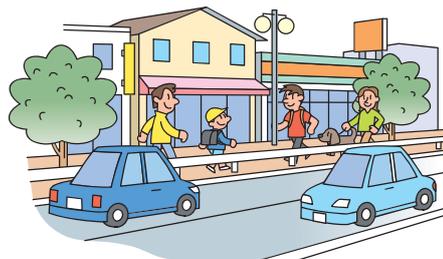


遊休農地を生かした貸農園を整備するとともに、地元の水産物による特産品開発を進め、その販売拠点を整備するなどにより、地場産業が元気なまちをめざします。

地域の歴史・文化資源を保全するとともに、観光客も含めてより多くの人に大井の魅力を知ってもらえるような体験・学習の場を整備するなど、文化的な暮らしが楽しめるまちをめざします。

地域の魅力を感じながら気軽に健康づくりが行えるとともに、高齢者が安心して暮らし続けられるよう、身近な散策路や公園を整備するなど、健康で安心なまちをめざします。

漁業集落の古いまち並みなど古き良き伝統も残しながら、都市的な土地利用や歩道整備、住宅地整備、環境美化を進めて、安全かつ快適に生活できる基盤の整ったまちをめざします。



護岸のかさ上げや避難場所・避難路の整備、大井川の改修などのハード整備とともに、自主防災組織の強化なども合わせて取り組むことで、高潮や津波などの災害に強く、安心して暮らせるまちをめざします。



1 歴史と四季折々の魅力が楽しめるまち

観光

弘法大師を生かした観光拠点の整備(上陸大師・聖崎公園周辺)

- ・聖崎公園周辺を地域の主要な観光資源として、アクセス道路やトイレ、駐車場をはじめ、キャンプや自然体験、バーベキューなどが楽しめるように整備
- ・聖崎公園の沖に鎮座する上陸大師像のPRを強化するとともに、弘法大師の歴史がわかる案内看板の設置、景観に配慮した土台の強化及び連絡通路の整備

海釣り公園の整備

- ・四季を通じて子どもや親子が魚釣りや磯遊びを楽しめるように、大井漁港に海釣り公園の整備

海辺や歴史資源をつなぐ散策・ウォーキングルートの整備

- ・上陸大師像から聖崎海岸へとつながる海辺の散策路(海遊ロード)、修行大師像や天神山、のろし台、28社をむすぶ里山の散策路(空海ロード)など、観光客や地域住民が大井の歴史資源や美しい景観を楽しみ、健康づくりにも役立つような散策・ウォーキングルートの整備

2 地場産業の元気なまち

農業

農業振興ゾーン

- ・地区の北西に広がる農地を農業振興ゾーンとして位置づけ、農業生産機能の増進や、優れた田園風景の維持・保全

遊休農地を活用した貸農園の整備

- ・遊休農地や空き家を活用して、小屋付の農地(クラインガルテン)や滞在施設として都市住民等に貸し出し地元との交流を図るとともに、企業等への大規模な農地の貸し出しも検討

工業

軽工業の立地誘導

- ・大井西交差点や東園の周辺に、軽工業等の新たな立地誘導、雇用創出

商業

沿道型の商業施設・サービス施設、居住機能を有した複合施設(漁港周辺は商業施設を中心に地区形成)

- ・(都)知多東部線沿いに、既存の店舗や住宅などを生かして、居住機能を有した商業施設やサービス施設などの複合施設による地区の形成

漁業

海産物・農産物の地域ブランド化

- ・地元の海産物や農産物を使った特産品や名物料理などを開発し、地産地消や販路開拓を進めるとともに、大井地域の知名度アップやブランド化の推進

水産加工業や漁業関連施設、倉庫等の集積及び漁港施設の老朽化対策

- ・漁業や水産加工業の発展に向けて、漁業関連施設や倉庫等の集積を図るとともに、老朽化した漁港施設を計画的に修繕

3 文化的な暮らしが楽しめるまち

文化

地域の歴史文化などを体験・学習できる文化交流拠点施設の整備

- ・縄文遺跡をはじめとする様々な歴史・文化資源や、歴史資料館の展示物などを活用した、地元の子どもたち向けの体験型の郷土学習施設の整備
- ・「海の駅」として、海産物・農産物の直売や木工芸等のものづくり体験工房、ロードバイクの休憩設備などを備え、観光客に地域の魅力を伝えることができるような交流・休憩施設の整備

遺跡などの歴史資源の保全・活用

- ・天神山遺跡やのろし台遺跡など、貴重な地域資源の保全・活用

4 健康にいきいきと暮らせるまち

健康づくり

お富士の山公園の整備

・お富士の山に、イスやベンチ、テーブル、トイレなどを備えた公園を整備。健康器具なども設置して、高齢者の健康づくりの場としても活用

海辺や歴史資源をつなぐ散策・ウォーキングルートの整備 ※再掲

高齢者福祉

高齢者福祉施設の整備

・高齢者が安心して暮らし続けられる高齢者共同住宅の整備

5 基盤の整った快適なまち

道 路

歩道整備

・子どもの通学路や高齢者が日常的に自転車などで移動する道路での歩道整備や側溝の改良などによる安全な移動空間づくり

細街路網の再編・整備 (都)知多東部線の整備 (都)大井豊浜線の整備

主要地方道半田南知多公園線の整備(四車線化)

公園・緑地

お富士の山公園の整備 ※再掲

住 宅

高台への新しい住宅地の整備

・津波の被害にあわないよう、農地や区所有の里山などの高台に新しい住宅地の造成

空き家の管理及び有効活用

・防災・防犯上の観点から、増加する空き家の管理・指導を徹底するとともに、若者の定住促進のための受皿として空き家の有効活用

週末居住や二地域居住の促進 ・定住・交流人口の拡大及び地域住民との交流促進

住宅地における住工混在の解消 / 居住環境整備

市街地整備

都市基盤整備や地区計画等による都市的土地利用への転換

・地区内の低・未利用地における、面的な都市基盤整備や地区計画等による都市的土地利用への転換

漁業集落のまち並み保全

・漁業集落などの既成市街地における、快適・安全な生活環境に配慮した古いまち並みの保全

環 境 美 化

清掃・草刈等の美化活動の推進

・お遍路さんが通る道路や漁業施設など、観光客など多くの人が目にする場所を中心に、住民や関係機関の協力による清掃や草刈などの美化活動の推進

6 安心して暮らせるまち

防 災

津波・高潮対策 ・台風や津波の被害を防止するための護岸堤防のかさ上げ

津波一次避難場所及び避難路の整備

・高齢者や車いすでも安心して避難できるよう、さくら坂などにおける避難路の拡幅や舗装の整備
・縄文遺跡付近など身近に避難できる新たな津波一次避難場所の整備
・避難場所や避難路を示す案内板などの設置と住民への周知徹底

みなと公園の再整備 ・みなと公園を憩いと交流の拠点及び避難場所として再整備

大井川・山田川の改修等

・大雨や台風等による浸水被害を防ぐために、河川改修、水門付近における排水ポンプ施設の整備

自主防災力の強化

・若い世代の参加による自主防災組織強化、夜間等の実践的な防災訓練の実施

防 犯

街路灯・防犯灯の整備

・夜道でも、子どもや女性が安心して通行できるように街路灯・防犯灯の整備

大井地区振興基本計画図

将来像

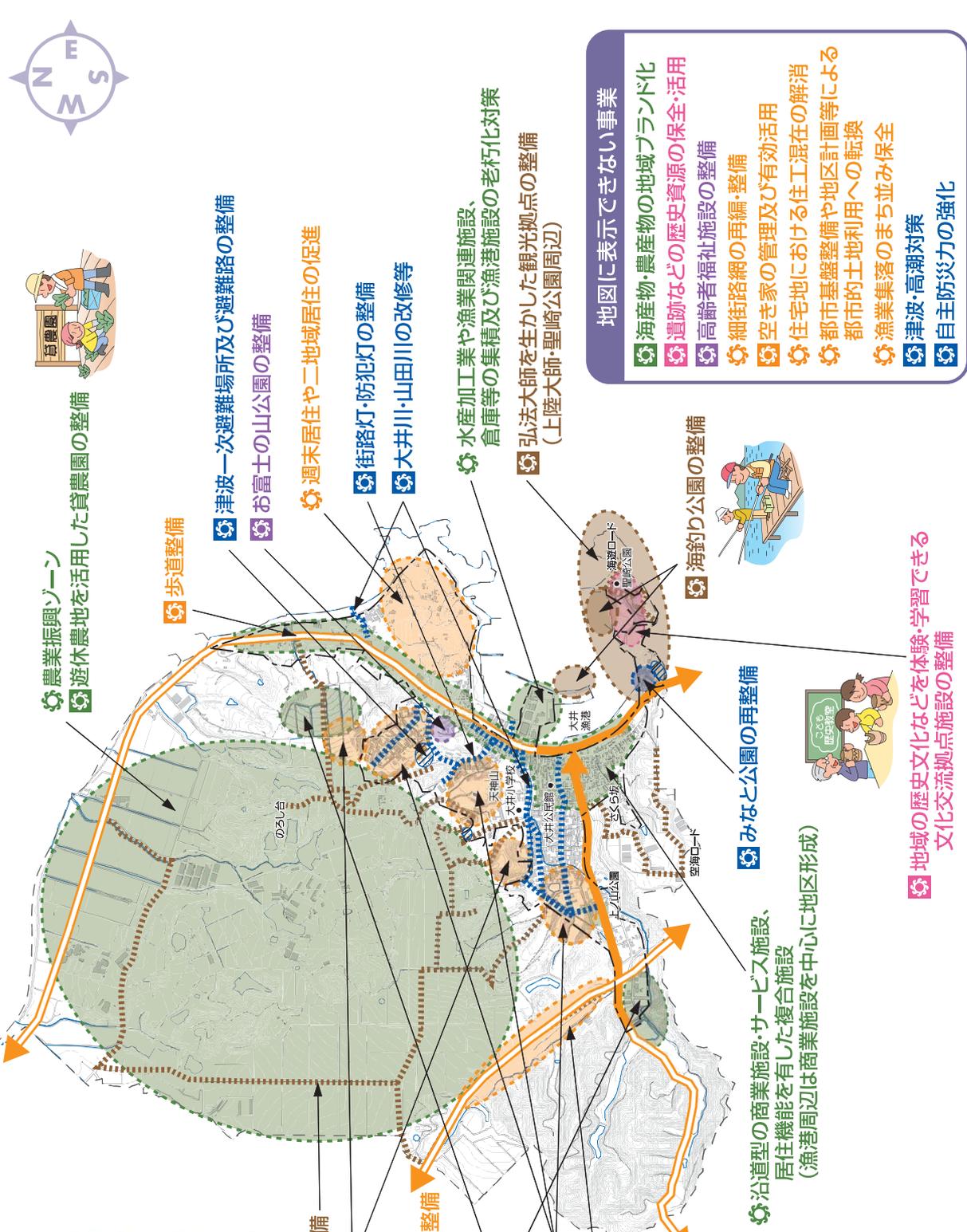
自然・歴史・文化がとけあい

健やかに暮らせるまち

まちづくり目標

- 目標1 歴史と四季折々の魅力が楽しめるまち
- 目標2 地場産業の元気なまち
- 目標3 文化的な暮らしが楽しめるまち
- 目標4 健康にいきいきと暮らせるまち
- 目標5 基盤の整った快適なまち
- 目標6 安心して暮らせるまち

🌀 (都) 知多東部線の整備



農業振興ゾーン
遊休農地を活用した貸農園の整備

🌀 歩道整備

津波一次避難場所及び避難路の整備
お富士の山公園の整備

🌀 週末居住や二地域居住の促進

街路灯・防犯灯の整備
大井川・山田川の改修等

水産加工業や漁業関連施設、倉庫等の集積及び漁港施設の老朽化対策
弘法大師を生かした観光拠点の整備 (上陸大師・聖崎公園周辺)

🌀 清掃・草刈等の美化活動の推進

🌀 (都) 大井豊浜線の整備

沿道型の商業施設・サービス施設、居住機能を有した複合施設 (漁港周辺は商業施設を中心に地区形成)

凡 例	
市街化区域	——
目標1 歴史と四季折々の魅力が楽しめるまち	■■■■
目標2 地場産業の元気なまち	■■■■
目標3 文化的な暮らしが楽しめるまち	■■■■
目標4 健康にいきいきと暮らせるまち	■■■■
目標5 基盤の整った快適なまち	■■■■
目標6 安心して暮らせるまち	■■■■
道路：未整備	——
道路：整備済	——
津波一次避難場所	■■■■

地図に表示できない事業

- 🌀 海産物 農産物の地域ブランド化
- 🌀 遺跡などの歴史資源の保全・活用
- 🌀 高齢者福祉施設の整備
- 🌀 細街路網の再編・整備
- 🌀 空き家の管理及び有効活用
- 🌀 住宅地における住工混在の解消
- 🌀 都市基盤整備や地区計画等による都市的土地利用への転換
- 🌀 漁業集落のまち並み保全
- 🌀 津波・高潮対策
- 🌀 自主防災力の強化



地域の歴史文化などを体験・学習できる文化交流拠点施設の整備

🌀...住民会議等で提案された事業・取組

🌀...既存計画で位置づけられている事業・取組



6. 片名地区

南知多町 片名地区 振興基本計画

発行・編集●南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日●平成25年3月



片名地区の将来像
赤ちゃんからお年寄りまで
安心して住み続けたいくなるまち

計画の趣旨

この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過

地区住民会議を3回開催しました。第1回 平成24年11月2日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成24年12月8日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成25年1月19日『地域の振興計画案の仕上げ』

片名地区の概況

① 地区の概況

- ・片名地区は、伊勢湾、三河湾で獲れる魚介類が集まる片名市場がある港まちです。
- ・地区内にはグルメ・ショッピング等のアミューズメント施設が充実しているチッタ・ナポリも立地しています。
- ・地区には昔から伝わる漁師料理「崎っぼ料理」が残っています。



人口・世帯の状況（平成22年国勢調査）

総人口	701人	0～14歳	68人	高齢化率	32.1%
男性	330人	15～64歳	408人	世帯数	248世帯
女性	371人	65歳以上	225人	平均世帯人員	2.83人/世帯

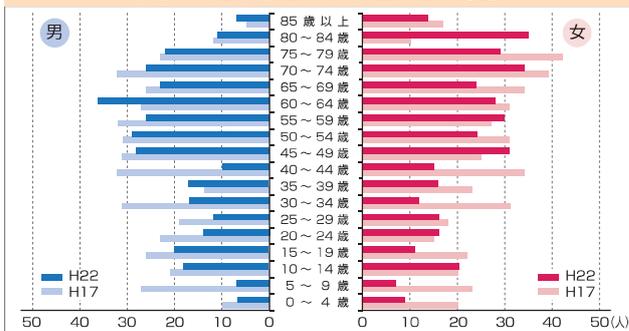
出生数の推移

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
3人	6人	4人	2人	2人

② 地区の人口

- ・地区の人口は1,290人、世帯数は436世帯で、町全体の人口の6.3%を占めています。
- ・年齢別にみると、「0～14歳」が143人、「15～64歳」が779人、「65歳以上」が368人で、65歳以上高齢化率は28.5%となっており、町全体の高齢化率29.6%よりも低くなっています。
- ・人口ピラミッドをみると、男性では「60～64歳」、女性では「55～59歳」が多くなっており、年々少子高齢化が進行しています。
（※片名地区の人口、世帯数等には住民基本台帳による新師崎の人口、世帯数は含まれていません。）

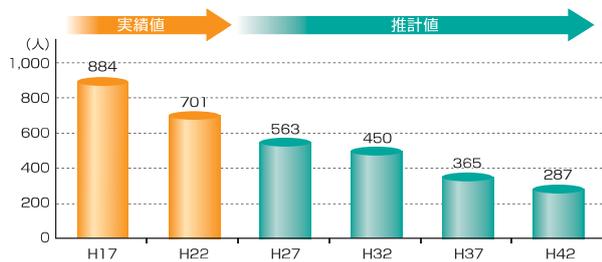
平成17年と平成22年の人口ピラミッドの推移



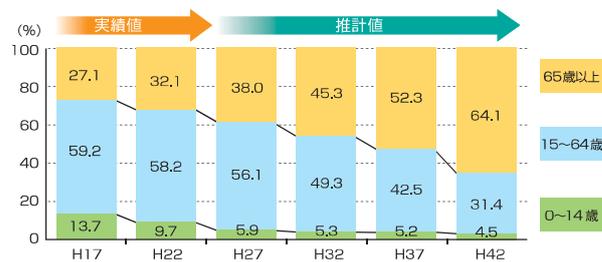
将来人口の推計

- ・地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成32年には450人、平成42年には287人となること推計されています。
- ・65歳以上高齢化率も平成32年には45.3%、平成42年には64.1%になること推計されています。

将来人口の推計



年齢構成別人口比率の推計



片名地区の主要課題

課題① 災害に強いまちづくり

大雨等による河川の増水や浸水被害が深刻な地域もみられることから、水害対策が課題となっています。海岸沿いに住宅が立地する地区もあり、津波による危険性もあることから、安心して避難できる避難路や津波一次避難場所、避難所を確保することが必要です。また、避難路や避難場所の整備などとともに、避難訓練などを通じた住民の意識啓発や地域の防災力の強化などが課題となっています。

課題② 生活環境の改善

集落内には狭い道路が多く、また国道247号をはじめ歩道がなく危険な道路もあることから、道路の拡幅等により利便性を高めるとともに、安心して通行できる道路にしていく必要があります。夜暗くて危険な道路が多いことから、防犯灯の整備などが求められます。大井小学校までは通学に不便なうえ、交通事故などの不安もあり、改善が求められています。学生の通学に係る負担が大きく、公共交通の利便性向上と負担の軽減が求められます。人口減少に歯止めをかけるために、若者の定住や週末居住などを含めた移住促進などが課題となっています。子どもが安全に遊べる場所が少ないことから、公園の整備が課題となっています。

課題③ 軸となる産業づくり

核となる施設や観光資源が乏しいことから、片名漁港や地域資源の有効活用などにより、集客の目玉となるような特産品や店舗などの新たな魅力づくりが求められます。遊休農地が増えていることから、幹線道路沿いの交通アクセスの良さを生かした新たな利活用が課題となっています。若者の定住を促すためにも、雇用の場の確保が求められます。

まちづくりの目標

目標 1

安全・安心なまち

片名川の改修や排水ポンプの整備などにより、水害に強いまちづくりを進めます。また、津波一次避難場所及び避難路の整備、避難場所を兼ねた集会所の整備などにより、地震や津波などによる被害の心配がない安全・安心なまちをめざします。



目標 2

都市基盤の整った 住みよいまち

子どもから高齢者まで集える集会所等の交流拠点を整備するとともに、集落内道路の拡幅や防犯灯整備、歩道等を備えた幹線道路整備、公共交通の充実や若者向けの住宅、公園整備、二地域居住の促進などを進めることで、都市基盤の整った住みよいまちをめざします。

目標 3

特色ある 産業のまち

遊休農地を有効活用した貸農園などの新たな交流・集客の拠点づくり、特産品開発を通じて交流人口の拡大を図るとともに、漁業関連施設の集積を高め、特色ある産業のまちをめざします。



1 安全・安心なまち

河川

⚙️ 片名川(準用河川)の改修

- ・浸水被害などの水害を防止するために、片名川の改修
- ・川の水が直線的に海に流れ出るような河川のルートの改修

⚙️ 排水ポンプの整備

- ・水害を防止するために、片名川の水門付近に排水ポンプの整備

⚙️ 水門の管理体制の見直し

- ・災害時に的確に対応できるように、地元と関係機関の連携による水門管理のあり方の見直し

防災

⚙️ 津波一次避難場所及び避難路の整備

- ・高齢者や車いすでも安心して避難できるよう、避難路の拡幅や舗装の整備、老朽化した橋梁の架け替え、草刈り等の強化
- ・民間マンション等にも協力を要請し、身近に避難できる新たな津波一次避難場所の整備・確保
- ・避難しやすいよう、避難場所や避難路を示す案内板などの設置と住民への周知徹底

⚙️ 自主防災活動の強化

- ・避難訓練を通じた避難路の確認や避難場所の整備内容、備蓄品の検討など、自主防災活動の強化・充実

⚙️ 新たな防災拠点の整備

- ・師崎中学校に加えて、集落から近い場所に新たな防災拠点の整備

⚙️ 公民館及び避難所の整備 ※再掲

2 都市基盤の整った住みよいまち

道路

⚙️ 集落内道路の整備

- ・住宅のセットバックや片名川の暗渠化などにより、集落内道路の拡幅とそれによる幹線道路へのアクセスの向上
- ・安全確保を図るためのカーブミラーなどの整備

⚙️ 街路灯・防犯灯の整備

- ・集落内道路をはじめ、夜間も安全に通行することができるように、街路灯・防犯灯の整備

⚙️ 国道247号の歩道整備

- ・国道247号の新師崎から片名までの区間を中心に、堤防の再整備などにあわせた歩道の整備

⚙️ 主要地方道半田南知多公園線の整備(四車線化)

⚙️ (都)知多東部線の整備

⚙️ 広域農道の早期全線開通(片名地区は完成)

交通

⚙️ スクールバスの運行

- ・片名から大井小学校までの遠距離通学の負担軽減と安全確保のためのスクールバスの運行

⚙️ 海っ子バスの充実

- ・朝晩の増便や運賃割引の拡大、無料化など、学生が利用しやすく通学費の負担が軽減されるようなサービスの見直し

住 宅

若者向けの住宅整備

- ・若者の流出を防ぎ定住人口を増やすために、町営住宅などの公営住宅の整備や、増加しつつある空き家の活用
- ・集落内道路の整備に伴う沿道の宅地開発の促進

週末居住や二地域居住の促進

- ・週末居住や二地域居住による定住・交流人口の増加を促進に向けて、リゾートマンションに周辺の遊休農地なども組み合わせて、農業やレジャーが楽しめる環境の整備

市街地整備

公民館及び避難所の整備

- ・旧保育所の跡地を活用して、子どもからお年寄りまで地区住民の憩いの場として、さらに災害時の避難所として、津波や浸水の影響のない場所に調理室等を備えた公民館の整備

公 園

公園の整備

- ・公民館周辺の里山や遊休農地を活用し、小さな子どもの安全な遊び場として、小中学生のアスレチックなどの冒険遊び場として、さらに高齢者の憩いの場としても使えるような公園や駐車場を公民館と一体的に整備

3 特色ある産業のまち

観 光

貸し農園の整備

- ・マンション等で週末居住や二地域居住している住民などを対象に、民間企業と連携して公園や緑地を備えた貸農園の整備

遊休農地の活用促進ゾーン

- ・半田南知多公園線沿いの交通アクセスの良い遊休農地を生かして、貸農園などの新たな交流・集客の魅力づくりにつながるような利活用のあり方の検討
- ・集会所や公園と周辺の遊休農地及び里山の一体的な活用による農業体験や子どもの遊び場として有効活用

特産品を使った商品開発

- ・観葉植物や干物などの片名の資源を活用した、観光の目玉となるような新たな特産品の開発

宿泊・店舗・船宿等の商業施設を中心とした整備

- ・にぎわいの創出に向けて、新師崎から片名にかけて立地する既存の店舗や宿泊施設等の充実

漁 業

水産加工業や漁具庫等の漁業関連施設、倉庫等の集積

- ・片名漁港に集まる海産物を活用した水産加工業の整備、漁具庫や倉庫等の漁業関連施設の整備など、漁業関連施設の集積

雇 用 創 出

企業誘致

- ・若者の雇用の場を確保し定住を促すために、遊休農地を活用した既存の事業所の移転・拡張、海産物を生かした食品メーカーなどの新たな企業誘致

片名地区振興基本計画図

将来像

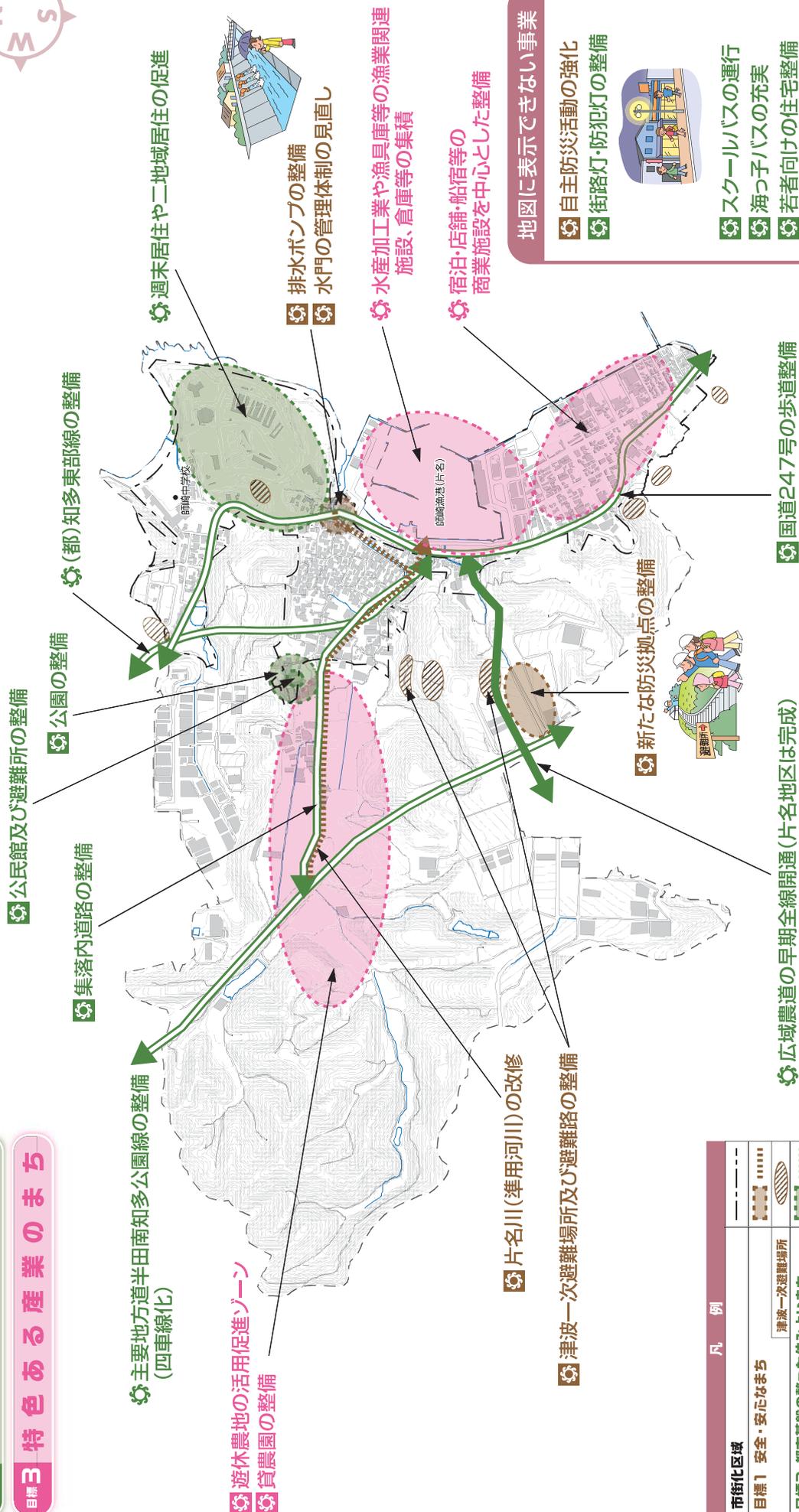
赤ちゃんからお年寄りまで
安心して住み続けたいくなるまち

まちづくり目標

目標1 安全・安心なまち

目標2 都市基盤の整った住みよいまち

目標3 特色ある産業のまち



地図に表示できない事業

- 自主防災活動の強化
- 街路灯・防犯灯の整備
- スクールバスの運行
- 海っ子バスの充実
- 若者向けの住宅整備
- 特産品を使った商品開発
- 企業誘致

凡 例	
市街化区域	-----
目標1 安全・安心なまち	■■■■■
目標2 都市基盤の整った住みよいまち	■■■■■
目標3 特色ある産業のまち	■■■■■
津波一次避難場所	■■■■■
道路：未整備	■■■■■
道路：整備済	■■■■■

●…住民会議等で提案された事業・取組

●…既存計画で位置づけられている事業・取組

500

1,000

2,000 m

7. 師崎地区

南知多町 師崎地区 振興基本計画

発行・編集 ● 南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日 ● 平成 25 年 3 月



師崎地区の将来像
海と歴史に生まれ
若い世代も安心して暮らせるまち

計画の趣旨

この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過

地区住民会議を3回開催しました。 第1回 平成 24 年 11 月 20 日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成 24 年 12 月 13 日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成 25 年 1 月 31 日『地域の振興計画案の仕上げ』

師崎地区の概況

① 地区の概況

- ・師崎地区には師崎港があり、篠島や日間賀島、伊良湖岬を結ぶ航路として高速艇やフェリーが運行される海の玄関口となっています。
- ・師崎港の朝市では、水揚げされたばかりの魚介や地元の海産物が販売されています。また、地区には昔から伝わる漁師料理「崎っぼ料理」があります。
- ・地区内には国指定の天然記念物「羽豆神社の社叢」があります。また、羽豆神社へ続く『ロマンスロード』と呼ばれている遊歩道もあります。
- ・地区には左義長まつりや大名行列、盆踊りなどの伝統行事が残っており、保存継承に取り組んでいます。



人口・世帯の状況（平成 22 年国勢調査）

総人口	2,288人	0～14歳	250人	高齢化率	31.7%
男性	1,105人	15～64歳	1,312人	世帯数	839世帯
女性	1,183人	65歳以上	724人	平均世帯人員	2.72人/世帯
		年齢不詳	2人		

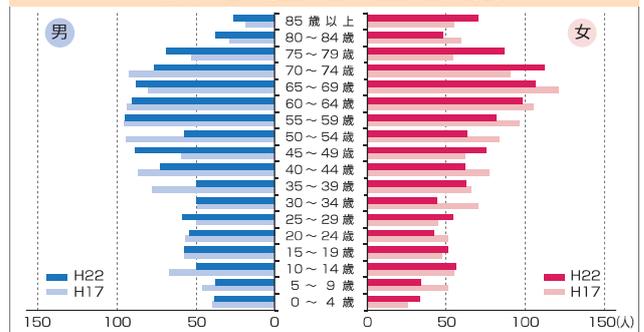
出生数の推移

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
14人	18人	7人	16人	10人

② 地区の人口

- ・地区の人口は1,699人、世帯数は651世帯で、町全体の人口の8.3%を占めています。
- ・年齢別にみると、「0～14歳」が175人、「15～64歳」が941人、「65歳以上」が581人で、65歳以上高齢化率は34.2%となっており、町全体の高齢化率29.6%よりもかなり高齢化が進展しています。
- ・人口ピラミッドをみると、男性では「65～69歳」と「45～49歳」が、女性では「70～74歳」が多くなっており、少子高齢化が進行しています。
（※師崎地区の人口、世帯数等には住民基本台帳による新師崎地区の人口、世帯数を含んでいます。）

平成 17 年と平成 22 年の人口ピラミッドの推移



将来人口の推計

- ・地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成 32 年には 2,097 人、平成 42 年には 1,868 人となることが推計されています。
- ・65歳以上高齢化率も平成 32 年には 38.5%、平成 42 年には 40.8% になることが推計されています。

将来人口の推計



年齢構成別人口比率の推計



師崎地区の主要課題

課題① 地場産業の再生

師崎漁港の朝市など、新たなにぎわいづくりが進む一方で、後継者や担い手不足、地域資源の未活用などにより、漁業や商業、観光などの産業の活力が低下しています。老朽化が進む漁業関連施設等の更新や新たな施設整備などの環境整備を進め、漁業や水産加工業の活力を維持・発展させることが課題となっています。交流人口を拡大するために、駐車場の整備やまち並み、自然環境の保全などを図り、観光客の受け入れ環境の整備やおもてなしの充実が求められます。

課題② 若い世代の流出防止

若い世代の流出を防止し、定住人口を拡大するために、遊休農地を活用した住宅整備や新たな雇用創出や、女性が子育てと仕事を両立できるようにするための子育て支援の充実などが課題となっています。温かい人柄や地域の結びつきなどが師崎の魅力であるものの、一方で地域活動の担い手不足や高齢化が進み、若い世代の地域との関わりが希薄になっています。子どもや子育て世代などが、地域の主役として関われるような活躍の場や組織づくりを進めることが求められています。地域の産業の活力低下とともに、若者の雇用の場も不足しがちです。

課題③ 住環境の整備

子どもから学生、高齢者まで、交通弱者も安全・快適に移動できるように、海っ子バスの充実や歩道整備、街路灯整備が求められています。また、上記の雇用創出とともに、アパートの誘致や空き家活用などにより、若い世代の住まいの受皿を用意することで、定住促進を図ることが課題となっています。大雨や台風による高潮、地震による津波の被害も懸念されることから、防波堤や避難場所、避難路の整備など、住民の命を守るための様々な災害対策が喫緊の課題となっています。

まちづくりの目標

目標 1

地場産業の 元気なまち

観光センターを中心とした新たな観光資源や散策路、レンタサイクルの整備などにより、観光客が師崎の魅力を楽しめるような環境を整備します。また、漁業や水産加工業などの地場産業の活力を高めて、産業の元気なまちをめざします。



目標 2

若い世代が 活躍できる まち

若い世代が仕事をしながら安心して子育てができるように、保育所や子どもの居場所を整備するとともに、子どもからや若者、女性を含む子育て世代なども地域づくりの担い手として活躍できる仕組みづくりを行います。また、地場産業の振興や遊休農地等の未利用地の活用による新たな雇用の創出を行うことで、若い世代が活躍できるまちをめざします。

目標 3

すべての 世代が 暮らしやすい まち

安全かつ利便性の高い公共交通や道路の整備を進めるとともに、若い世代の住まいの確保、公園づくり、さらに高潮や津波などの災害対策を充実して、安心して暮らせるような住環境を整備して、すべての世代が暮らしやすいまちをめざします。



1 地場産業の元気なまち

観光

-  **観光センターや朝市を核とした「海の駅」構想**
 ( **師崎港周辺の観光情報機能の充実、バリアフリーの促進、景観整備**)

 - ・海上交通の利用者などでにぎわう師崎港の観光センターの建て替えによる、観光案内や情報発信、土産物などの物販機能等の強化、利便性向上
 - ・観光センター及び朝市周辺をイベントゾーンとして整備し一體的な集客力の向上
-  **散策コースの整備 ( **水辺空間などを活用した散策ルートの整備**)**

 - ・師崎周辺地域の歴史や、海岸・河川などの水辺、美しい景観などの魅力を感じてもらえるように、名所を楽しく効率的に散策できるようなモデルコースの整備
 - ・インパクトがあり、地域の人たちが愛着の持てるように、子どもがタイルを張ったり、防波堤に絵を描いたり、道端に花を植えたりするなど手づくりで散策コースを整備
-  **古いまち並みを生かした観光振興**

 - ・のんびりと散策や買い物を楽しんでもらえるように、路地や黒板塀の家屋など漁師町の風情を残したまち並みを観光資源として活用
-  **レンタサイクルの導入**

 - ・観光センター及び朝市会場へのレンタサイクルの拠点整備、まち並みや寺社、公園、師崎港、展望台、羽豆岬を巡ってもらうためのサイクリングロードの整備
-  **四季を通じて楽しめる磯場づくり**

 - ・四季を通じて家族連れなどが磯遊びを楽しめるように、展望台南西の海岸に磯場の整備
-  **新たな人工ビーチの整備** ・師崎の新たな観光資源として、羽豆岬交差点から西側に人工砂浜の整備
-  **観光客向け駐車場の整備**

 - ・観光客が徒歩や自転車で師崎地区内を移動してもらえるように、中心部から少し離れた幹線道路沿いの山ノ神や板取周辺に、観光案内の機能を備えた観光客向けの新たな駐車場の整備
-  **公衆トイレの整備** ・観光客が気持ちよく利用できる公衆トイレの整備と清掃活動の実施
-  **羽豆岬の保全・活用** ・美化活動による羽豆岬の美しい景観の保全

 - ・羽豆神社前の階段の整備を行うなど、観光名所として訪れやすい環境づくり
-  **宿泊・店舗・船宿等の商業施設を中心とした整備**

 - ・賑わいの創出に向けて、新師崎に立地する既存の店舗や宿泊施設等の充実
-  **師崎の知名度向上にむけたPR強化**

 - ・伝統の祭りをはじめとした地域の様々な魅力をWEBやリーフレット、案内看板等を通じて外部に積極的に情報発信し、師崎の知名度向上・イメージアップ
-  **特産品開発による地域ブランド化** ・師崎の新たな特産品開発による地域ブランド化
-  **観光案内ボランティアの実施**

 - ・師崎の歴史など様々な魅力を、案内ボランティアなどにより直接伝えていく仕組みの構築
 - ・住民が観光客に、師崎の歴史や文化を自分の言葉で伝えられるよう、住民のおもてなしの心づくり
-  **観光の話題づくり**

 - ・師崎地区から都市部の空に向けてレーザーを放つなど、師崎が目立つ話題づくり
 - ・知多娘のように、師崎のゆるキャラ・ご当地キャラ、ご当地アイドルをつくり、PRやお土産などに活用

漁業

-  **水産加工業や漁業関連施設、倉庫等の集積及び老朽化対策**

2 若い世代が活躍できるまち

子育て支援

-  **保育所の整備**

 - ・仕事と子育ての両立を支援できるように、津波などの心配のない安全な場所での保育所の整備
-  **世代間交流を通じた子どもの居場所づくり**

 - ・小学校の余裕教室などを活用し、放課後に子どもたちが集い高齢者と触れ合える居場所の整備

コミュニティ振興

地域における若者の活躍の場や組織づくり

・小中学生や子育て世代など、次代を担う若い世代が地域の行事や散策コースの整備など、様々な活動・まちづくりに主体的に関わることができるような、若者が主役の組織づくりや活躍の舞台づくり

土地利用

新たな都市的土地利用の検討

・富士見ヶ丘付近の遊休農地を有効活用して、新たな工場や高齢者の健康・福祉施設の誘致、クラインガルテンの整備など、師崎の振興に資する新たな都市的土地利用の検討

雇用創出

観光を中心とした若者の新たな雇用創出

・観光を中心とした関連産業の振興、遊休農地における新たな事業の誘致など、若者が働き続けられる雇用創出

3 すべての世代が暮らしやすいまち

公共交通

海っ子バスの充実

・運行本数やダイヤの見直しなどによる利便性の向上

道路

歩道及び街路灯の整備による安全な道づくり

・歩道と車道の分離、通学や高齢者の移動に使われる生活道路への街路灯を設置など、安全・安心な移動環境の整備と、あわせて車の移動にも快適な道路の整備

主要地方道半田南知多公園線の整備(四車線化) / 有料道路の無料化

住宅

集合住宅の誘致

・若い世代向けに民間アパートなどの集合住宅の整備の誘致・促進

地域の空き家情報の収集と発信

・地域の空き家情報を集め、不動産会社などに情報提供

空き家の有効活用

・空き家を利活用して、Uターンや新たな移住を希望する人に安く貸し出すなど、若者の定住のための住む場所の確保

町営住宅の整備

・若い世代向けに町営住宅の集合住宅の整備の誘致・促進

新師崎地区の住環境整備

・比較的若い世代が多い新師崎地区において、側溝などの住環境の改善を行うとともに、他地域と一体となった地域づくり活動の推進

公園

防災公園の整備

・災害時には避難場所としても活用することを想定したうえで、子どもの遊び場や高齢者のたまり場などみんなの憩いと交流の場として、桜の植樹なども行った公園の整備

施設

図書館の充実

・他の図書館と連携し、子どもを中心に気軽に本に親しむことができるような図書館の充実
・観光案内所も兼ねて、師崎地区の歴史・文化や著名人、特徴や自慢など、師崎地区のことをよく知ることができるような、ふらっと立ち寄れる場所として整備

防災

津波一次避難場所及び避難路の整備

・高齢者や車いすでも安心して避難できるよう、避難路の拡幅や舗装の整備、草刈り等の強化
・身近に避難できる新たな津波一次避難場所の整備
・避難場所や避難路を示す案内板などの設置と住民への周知徹底

護岸の整備

・高潮・津波対策として、散策路としても利用できる護岸を整備、観光資源としても活用

師崎地区振興基本計画図

将来像

海と歴史に育まれ
若い世代も安心して暮らせるまち

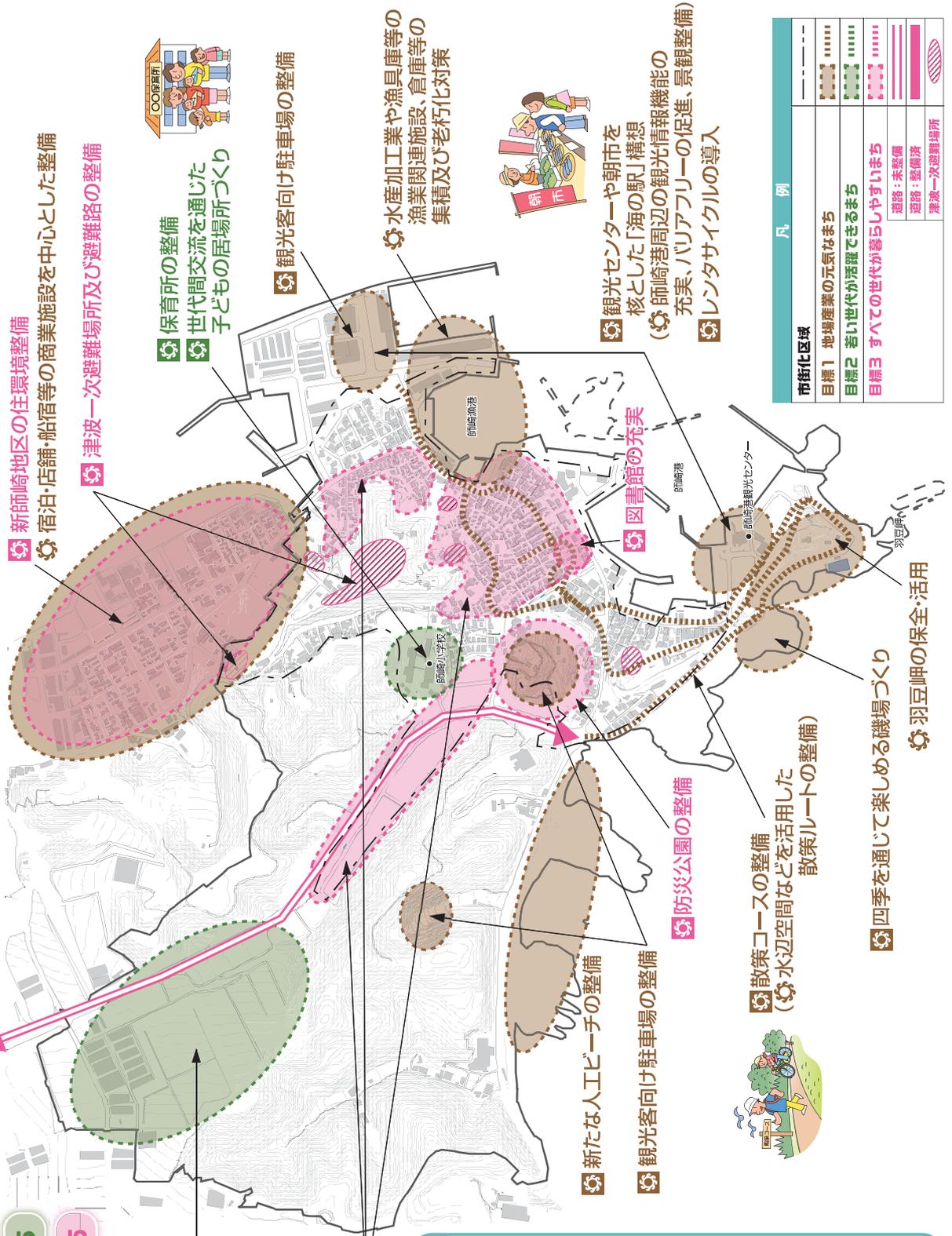
まちづくり目標

目標1 地場産業の元気なまち

目標2 若い世代が活躍できるまち

目標3 すべての世代が暮らしやすいまち

主要地方道
半田南知多公園線の整備(四車線化)



新たな都市的土地利用の検討



集合住宅の誘致

地図に表示できない事業

- 古いまち並みを生かした観光振興
- 公衆トイレの整備
- 師崎の知名度向上に向けたPR強化
- 特産品開発による地域ブランド化
- 観光案内ボランティアの実施
- 観光の話題づくり
- 地域における若者の活躍の場や組織づくり
- 観光を中心とした若者の新たな雇用創出
- 海つ子バスの充実
- 歩道及び街路灯の整備による安全な道づくり
- 有料道路の無料化
- 地域の空き家情報の収集と発信
- 空き家の有効活用
- 町営住宅の整備
- 護岸の整備

- 新師崎地区の住環境整備
 - 宿泊・店舗・船宿等の商業施設を中心とした整備
- 津波一次避難場所及び避難路の整備
- 保育所の整備
 - 世代間交流を通じた子どもの居場所づくり
- 観光客向け駐車場の整備
- 水産加工業や漁具庫等の漁業関連施設、倉庫等の集積及び老朽化対策
- 観光センターや朝市を核とした「海の駅」構想
 - 師崎港周辺の観光情報機能の充実、バリアフリーの促進、景観整備
 - レンタサイクルの導入
- 図書館の充実
- 防災公園の整備
- 新たな人工ビーチの整備
- 観光客向け駐車場の整備
- 散策コースの整備
 - 水辺空間などを活用した散策ルートの整備
- 四季を通じて楽しめる磯場づくり
- 羽豆岬の保全・活用

市街化区域	
目標1 地場産業の元気なまち	●●●●
目標2 若い世代が活躍できるまち	●●●●
目標3 すべての世代が暮らしやすいまち	●●●●
道路：未整備	——
道路：整備済	——
津波一次避難場所	////



8. 篠島地区

南知多町 篠島地区 振興基本計画

発行・編集●南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日●平成25年3月



篠島地区の将来像

自然も歴史も愛する島

計画の趣旨

この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過

地区住民会議を3回開催しました。 第1回 平成24年11月27日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成24年12月18日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成25年1月24日『地域の振興計画案の仕上げ』

篠島地区の概況

① 地区の概況

- ・篠島地区は師崎港から高速船で約10分のところにある漁業と観光の島です。
- ・最近、島の歴史や伝統的な行事を保存・継承する活動が盛んで、観光ボランティアガイドのグループも結成されました。
- ・篠島は伊勢神宮とのつながりが深く、毎年3回、島で獲れた鯛を塩漬けにした「おんべ鯛」を献上しています。また、篠島の神社の遷宮は、伊勢神宮の式年遷宮で、それまで伊勢神宮のお社に使われていた古材を譲り受けて行われています。
- ・地区内には海水浴場があり、海の管理釣り堀「篠島釣り天国」もあります。
- ・島内には名古屋城築城の際に加藤清正が切り出そうとして放置されたと伝えられる「^{やあひし}矢穴石」が数多く残り、その一つが名古屋城に寄贈され、展示されています。



人口・世帯の状況（平成22年国勢調査）

総人口	1,763人	0～14歳	232人	高齢化率	29.4%
男性	884人	15～64歳	1,013人	世帯数	634世帯
女性	879人	65歳以上	518人	平均世帯人員	2.78人/世帯

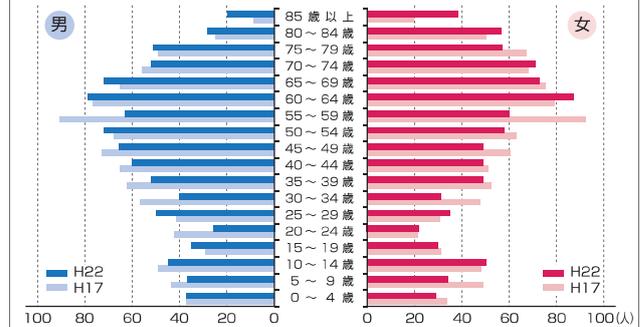
出生数の推移

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
10人	12人	16人	13人	19人

② 地区の人口

- ・地区の人口は1,763人、世帯数は634世帯で、町全体の人口の8.6%を占めています。
- ・年齢別にみると、「0～14歳」が232人、「15～64歳」が1,013人、「65歳以上」が518人で、65歳以上高齢化率は29.4%となっており、町全体の高齢化率29.6%とほぼ同程度になっています。
- ・人口ピラミッドをみると、男性も女性も「60～64歳」が多く、年々少子高齢化が進行しています。

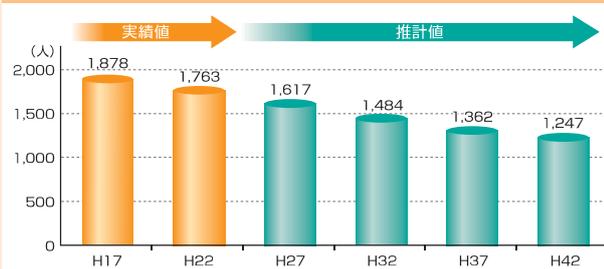
平成17年と平成22年の人口ピラミッドの推移



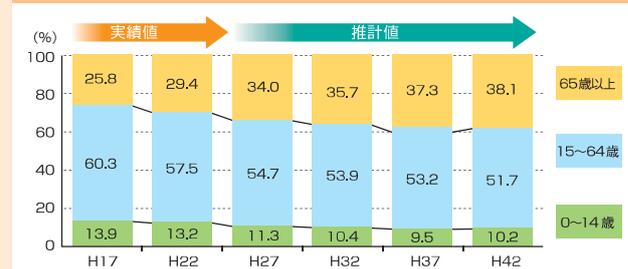
将来人口の推計

- ・地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成32年には1,484人、平成42年には1,247人となると推計されています。
- ・65歳以上高齢化率も平成32年には35.7%、平成42年には38.1%になると推計されています。

将来人口の推計



年齢構成別人口比率の推計



篠島地区の主要課題

課題① 観光業の活性化

篠島は伊勢神宮に奉納される“おんべ鯛”や“しらす・ふぐなどの海の幸”で知られ、近年では、名古屋城の石垣の採石地としても注目されています。しかし、多くの観光資源に恵まれているにもかかわらず、観光客の減少が続いており、観光の新たな展開が求められています。

課題② 水産業の活性化

観光業とも深く結びついた水産業においては、後継者の不足などから水揚げが減少傾向にあります。篠島の活性化のために、基幹産業である水産業の活性化が重要な課題となっています。

課題③ 若者の定住促進

観光船の運航ダイヤにより半島側への通勤が難しい状況であるとともに、島内に若者の働く場が乏しく、若者が島外に流出しています。若者が島に住み続けられる環境づくりが求められています。

課題④ 子育て・教育環境の充実

篠島の自然の中で子ども達が遊べるような環境整備が求められているとともに、高校生になると島から通学することが難しくなることから、子育て・教育環境の充実が求められています。

課題⑤ 高齢者支援の充実

篠島地区も例にもれず高齢化が進展していますが、島内には介護施設がほとんどなく、診療所も常設ではないことから、介護・医療施設の充実が求められています。

課題⑥ 災害に強いまちづくり

篠島はこれまで津波被害にあった記録はないと言われていますが、今後どのような被害が起こるかはわかりません。島内の道路は狭く、様々な設備も老朽化していることから、災害時に備えて整備していくことが求められています。

まちづくりの目標

目標 1

自然と歴史を生かした観光の島

篠島の風景を楽しめる散策路を整備したり、篠島パークゴルフ場跡地を活用した新たな観光資源を作り出すなど、篠島ならではの自然と歴史を生かした観光の島をめざします。



目標 2

水産業が活気のある島

篠島の水産物等の地域ブランド化を図るとともに、漁業関連施設や倉庫などの整備、篠島漁港の老朽化対策を進め、水産業が活気のある島をめざします。

目標 3

若い人が暮らしやすい島

地場産業の活性化や福祉施設の整備などを通して雇用の場を創出したり、通勤・通学できる環境整備を進めるとともに、子育て支援の施設整備や子どもの居場所づくりを進め、若い人が暮らしやすい島をめざします。



目標 4

いつまでも安心して暮らせる島

高齢になっても篠島で住み続けられるように介護施設などを整備するとともに、いざというときにきちんと避難できる道路や避難所を整備し、いつまでも安心して暮らせる島をめざします。

1 自然と歴史を生かした観光の島

観光

- 散策路の整備 (⚙️ 散策路の整備)**
 - ・篠島の自然・景色、歴史・文化を楽しみながら島を一周できる散策路を、ハイキングコースとして整備
 - ・ハイキングコース沿いに、一休みしたりお弁当を食べたりできる休憩所やトイレ等の整備
- 牛取展望台の撤去と跡地の再整備**
 - ・老朽化した牛取展望台を撤去し、鳥居を改めて設置して、お伊勢さんが望める公園の整備
- 観光船乗場及び周辺環境の整備 (⚙️ 乗船場周辺の緑化)**
 - ・島の玄関口である観光船乗場に観光ボランティアの窓口や島の水産物を楽しめる場所を設けたり、周辺に案内板を設置する等、おもてなしの空間としての整備
- 無人島の観光利用**
 - ・篠島周辺の無人島に船着き場などを整備し、島でサバイバル体験をしたり、ロケを誘致したりするなど、観光資源として活用
- 地域固有の歴史・文化資源の保全・活用**
 - ・地域の伝統行事を大切に保全
 - ・神明社や八王子社、牛取展望台を結び、お伊勢さんをテーマにしたハイキングコースの設定
- 神明社の拠点整備**

いせつちのみや
 - ・神明社のかつての呼称「伊勢土之宮」を生かして、伊勢神宮とのつながりのPR
 - ・神明社に島民が常駐し、おみくじを販売したり、島を案内したりできる拠点の整備
- 観光交流ゾーンの整備**
 - ・宿泊施設が集積する一帯を「観光交流ゾーン」として整備
- 観光商業地の整備**
 - ・民宿、旅館などが立地する一帯を「観光商業地」として魅力向上
- 観光振興ゾーンの整備 (⚙️ レクリエーション地区の整備)**
 - ・篠島パークゴルフ場跡地を活用した下記のような施設整備などを検討し、観光振興ゾーンの整備

子どもが地域のお年寄りなどから農業を学び、自然体験、農体験できるような市民農園・産直施設
 雨天時も楽しめるプールや飲食施設、島の歴史や、習わし、生業など、篠島のことがすべてわかる
 歴史資料館、吉田拓郎記念館など、観光の拠点となるような施設
 保養施設
- 森林の保全**
 - ・篠島南部の森林保全
- 魚介類の島としての観光PR (⚙️ 自然資源を生かした観光業の振興)**
 - ・“魚介類と言えば篠島”と言われるようにブランド化を図り、観光の目玉としてPR
 - ・朝市・産直市の本格実施
- 島民の観光ガイドの育成**
 - ・観光客が島民の誰に話しかけても、篠島の日々の暮らしや仕事などを、各島民の言葉で伝えてもらえるよう、島民を観光ガイドとして育成
- 新たな観光船ルートの開発**
 - ・ゆかりの深い伊勢と篠島とを結ぶ新たな観光ルートの検討
- 良好な景観を保つための環境整備**
 - ・島内の違法駐車による景観の悪化を解消するため、有料駐車場の整備

2 水産業が活気のある島

水産業

- 水産加工業や漁具庫等の漁業関連施設や倉庫等の整備 / ⚙️ 水産業振興ゾーン**
 - ・地域ブランド化した加工食品などを製造する施設や漁具庫等、水産業の関連施設の整備
- 篠島漁港の老朽化対策**
 - ・漁師の方々の声を取り入れて、老朽化した篠島漁港の整備
- 篠島の海産物・加工食品のブランド化 (⚙️ 自然資源を生かした水産業の振興)**
 - ・日本一のしらす、県内一のふく等に、“篠島”のタグをつけ、“魚介類の島篠島”のPR
 - ・味付けのりなど篠島の水産物の加工食品の地域ブランド化を図り、篠島の味としてPR

3 若い人が暮らしやすい島

雇用創出

若者の雇用の場の創出

・新堤防周辺に味付けのり工場、篠島小学校跡地に介護・子育て支援施設などの福祉複合施設を整備したり、漁業・加工などの体験型観光を充実することにより、若者の雇用の場の創出

観光船の充実

・名古屋市への通勤や半島側の高校への通学を可能にするため、通勤・通学時間帯の観光船の増便や、生活者や観光客にやさしい運賃の値下げなど、観光船の充実に向けた検討
・住民同士の海上タクシーの乗り合いの仕組みづくり

住宅整備

週末居住や二地域居住の促進

・市民農園や散策路の整備などを通して、週末居住や二地域居住による定住・交流人口の増加の促進

子育て支援

子育て支援のための施設整備

・篠島小学校跡地に、避難所も兼ねた保育所・幼稚園を、介護支援施設などと合わせた福祉的な複合施設として整備

市民農園・産直施設の整備

・篠島パークゴルフ場跡地に、子どもが自然体験・農体験でき、お年寄りなどから農業を学び、野菜作りができるような市民農園・産直施設の整備

4 いつまでも安心して暮らせる島

高齢者福祉

介護支援のための施設整備

・いくつになっても島内で生活できるよう、篠島小学校跡地に、避難所も兼ねた介護支援施設を、保育所・幼稚園などと合わせた福祉的な複合施設として整備

防災

避難所の整備

・篠島小学校跡地に、保育所・幼稚園や介護支援施設などの福祉的な複合施設を整備する際には、避難所として活用できるように整備

津波一次避難場所及び避難路の整備

・高齢者や車いすでも安心して避難できるよう、避難路の拡幅や舗装の整備、草刈り等
・身近に避難できる新たな津波一次避難場所の整備
・避難しやすいよう、避難場所や避難路を示す案内板などの設置と住民への周知徹底

建物の不燃化の促進

波返し延長

・観光を意識し、景観に配慮した波返し延長整備

道路整備

主要町道の維持・改修

・安全に通行・避難できる主要町道の維持・改修

9. 日間賀島地区



日間賀島地区

振興基本計画

日間賀島地区の将来像

活気とふれあいのあるやさしい島

計画の趣旨

この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過

地区住民会議を3回開催しました。 第1回 平成 24 年 11 月 12 日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成 24 年 12 月 10 日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成 25 年 1 月 28 日『地域の振興計画案の仕上げ』

日間賀島地区の概況

① 地区の概況

- ・日間賀島地区は、東と西に港があり、師崎港から高速船で約 10 分のところにある観光と漁業の島です。漁業と観光業の連携が図られており、島全体で観光地として盛り上げており、知名度も上がっています。
- ・地区内には数々の古墳が残されており、蛸阿弥陀如来がご本尊の安楽寺があることから、「タコの島 日間賀島」としてPRしています。
- ・豊かな海の幸、細い路地が入り組んだまち並み、釣りや海水浴などのアウトドア、美しい景色など、地域ならではの資源が豊富にあります。夏にはイルカを日間賀島の海辺に受け入れ、海と空の自然学校『キッズアドベンチャー』が開かれるなど、地域の資源を最大限に生かした取り組みが進められています。



人口・世帯の状況（平成 22 年国勢調査）

総人口	2,051 人	0～14 歳	289 人	高齢化率	28.7%
男性	1,008 人	15～64 歳	1,174 人	世帯数	630 世帯
女性	1,043 人	65 歳以上	588 人	平均世帯人員	3.26 人/世帯

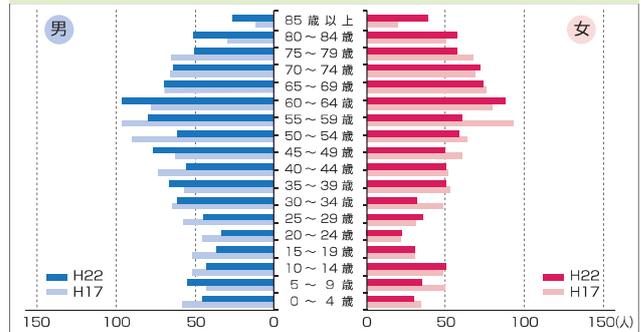
出生数の推移

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
20 人	20 人	8 人	18 人	9 人

② 地区の人口

- ・地区の人口は 2,051 人、世帯数は 630 世帯で、町全体の人口の 10.0% を占めています。
- ・年齢別にみると、「0～14 歳」が 289 人、「15～64 歳」が 1,174 人、「65 歳以上」が 588 人で、65 歳以上高齢化率は 28.7% となっており、町全体の高齢化率 29.6% よりも低くなっています。
- ・人口ピラミッドをみると、男性では「60～64 歳」、女性では「70～74 歳」が多く、年々少子高齢化が進行しています。

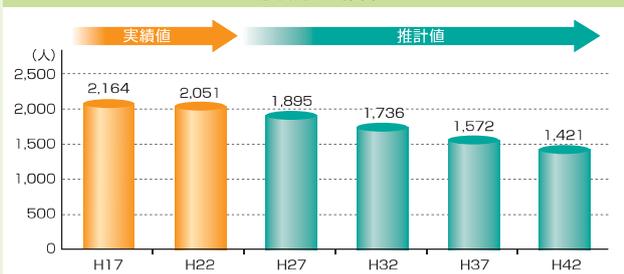
平成 17 年と平成 22 年の人口ピラミッドの推移



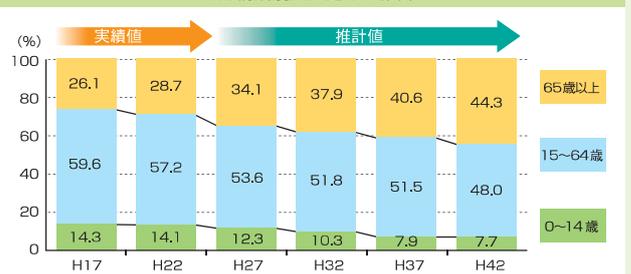
将来人口の推計

- ・地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成 32 年には 1,736 人、平成 42 年には 1,421 人となることが推計されています。
- ・65 歳以上高齢化率も平成 32 年には 37.9%、平成 42 年には 44.3% になることが推計されています。

将来人口の推計



年齢構成別人口比率の推計



日間賀島地区の主要課題

課題① 海上交通の利便性の向上

島のため、海上交通に頼らなくてははいけません。高速船は夜の便が少なく、名古屋への通勤ができない状況になっており、観光客の利便性向上のためにも運行ダイヤの充実が必要です。レジャーボートで訪れるレジャー客もありますが、専用に停泊させる場所がありません。また、東西の港には路上駐車も多くあるなど、観光客を迎え入れる魅力ある港になっていません。観光客の利便性を高めつつ、観光客をおもてなしする港周辺の整備が求められます。

課題② 住環境の整備

幅員の狭い道路が多く、災害時において消防車両が通行できない箇所があるため、改善が必要です。津波などの災害の危険性もあり、沿岸部に立地する住宅を高台へ移転できるようにすることが必要ですが、高台の農地は側溝が未整備なため、宅地化を促進できるような基盤を整えていくことが求められます。

課題③ 健康福祉の充実

高齢化が進んでいますが、子育て中の親や子どもも比較的多く住んでいます。しかし、島内には介護施設や子育て支援等が行える施設がほとんどなく、これらの健康福祉施設の充実が求められます。

課題④ 観光資源の有効活用

日間賀島は夏の海水浴やマリンスポーツを中心に観光客が訪れています。日帰りや1泊などの短期滞在の来訪者が多くなっています。そのため、何度も訪れ、長く滞在してもらえるよう地域の資源を有効に活用しながら、新たな観光の魅力を向上させていくことが必要です。

課題⑤ 地場産業の活性化

島内の産業は漁業、海産物加工業、観光業などありますが、高齢化や担い手不足も起こっています。また、若者などが働ける場も少なく、島外へ就職してしまうケースも少なくありません。若者からお年寄りまでが生きがいをもって働き続けられる雇用を確保するために、漁業、観光、商工業等が連携して産業の活性化を図っていくことが求められます。

まちづくりの目標

目標 1

おもてなしの島

観光客をもてなす渡船施設やマリーナ、駐車場の整備や高速船の運行ダイヤの見直しなど、玄関口としての港の魅力化と海上交通の利便性の向上を図り、おもてなしの島をめざします。



目標 2

災害に強い安全・安心な島

火災や地震、津波などの災害から島民の命を守るため、狭い道路の解消や、災害時に危険な住宅の移転促進を図り、安全な住宅地を確保していくなど、災害に強い安全・安心な島をめざします。

目標 3

子どもや高齢者にやさしい島

いつまでも日間賀島で住み続けられるように高齢者等の介護支援を充実するとともに、働きながら子どもを健やかに育てられるように子育て支援を充実していくなど、子どもや高齢者にやさしい島をめざします。

目標 4

ゆっくり、のんびりと訪れたい島

滞在しながらゆっくりと島内にある名所旧跡などを見ながら散歩したり、新鮮な海産物や郷土料理を食べたり、島の伝統文化、食文化などを体験したりと、四季を通じて日間賀島の魅力を満喫できる、ゆっくり、のんびりと訪れたい島をめざします。



目標 5

漁業、観光、商工業が連携する元気な島

若者からお年寄りまでが働くことができるような雇用の場を確保するとともに、地場産業の活性化に向けて、漁業、観光、商工業が連携した活力のある元気な島をめざします。

1 おもてなしの島

玄関口の整備

渡船施設の整備

- ・島の玄関口として、来訪者をもてなすトイレを備えた待合施設、産直施設等の整備
- ・船乗場までの屋根付き通路等の整備
- ・島の玄関口が3カ所に分散しているため、東西の船乗場統合に向けた関係機関との調整

マリーナの整備

- ・プレジャーボート利用客が専用で停泊できるマリーナを、船乗場の統合や漁船との利用調整などを図りながら整備

駐車場の整備

- ・船乗場周辺は路上駐車が多く、交通安全上、景観上も良くないことから、観光関係者及び船乗場利用客のための駐車場の整備

乗船場周辺の緑化

- ・島の玄関口としての魅力を高めるため、花や緑に囲まれた玄関口としての緑化推進

海上交通の充実

- ・観光や通勤等に利用しやすいよう、早朝や夜間の増便などの海上交通の充実

観光交流ゾーンの整備

- ・宿泊施設が集積する一帯を「観光交流ゾーン」として整備

観光商業地の整備

- ・民宿、旅館などが立地する一帯を「観光商業地」として魅力向上

2 災害に強い安全・安心な島

防災

防災面に配慮した道路の整備（主要町道の維持・改修）

- ・防災対策として狭あい道路等の拡幅整備

津波一次避難場所及び避難路の整備

- ・高齢者や車いすでも安心して避難できる津波一次避難場所及び避難路の整備

建築物の不燃化

住宅地の整備

移転や移住用地としての住宅地の整備（低未利用地の住宅、工房等への活用）

- ・津波などで危険となる住宅の移転促進や若者の定住、町外からの移住の促進を図るため、高台の農地の側溝等の整備による新たな住宅地の整備

救急・消防体制の強化

救急・消防の専門スタッフの配置

- ・日間賀島サービスセンターに救急や消防の専門スタッフを配置するなど、救急・消防体制の充実

ごみ処理

ごみ処理場の整備

- ・ゴミの処理場の代替地の確保の検討

3 子どもや高齢者にやさしい島

福祉・教育施設整備

介護支援のための施設整備

- ・デイサービスやショートステイのできる施設の整備と、それによる若者の雇用の場の確保

子育て支援のための施設整備

- ・子育てしやすい働きやすい環境を整えるため、子育て支援センターや、3歳以下の子どもも対象にした保育所などの整備・充実

学童保育の実施

- ・学校の空き教室等を活用し、子ども達に地域のお年寄りなどが遊びを教える学童保育の実施

医療体制の充実

診療所の充実 (診療所施設・医療設備の充実)

・島民だけでなく観光客も安心して滞在できるよう、夜間診療などにも対応した診療所の充実

ヘリポートの整備

・ドクターヘリによる搬送ができるよう、24時間対応のヘリポートの整備

公園

公園の整備

・観光客がゆっくりくつろげる見晴らし台などを備えた公園の整備
 ・既存の公園をリニューアルし、子どもや親子、高齢者が憩い楽しめるように、遊具やベンチの設置などによる魅力的な公園の整備

4 ゆっくり、のんびりと訪れたい島

観光施設整備

散策路や休憩施設の整備

・ゆっくり、のんびりと島を周遊できるよう、海岸沿いに散策路とベンチ、あずまや、トイレ、観光案内などができる休憩施設の整備

緑化の推進

・昔の海岸の風景を再生するために松並木の整備
 ・魅力的な海岸沿いをゆっくり散策できるよう花や緑の植栽の充実

海岸部の森林の保全

案内看板の設置

・島内全域を気軽に散策できるよう、名所旧跡などを記した案内看板の設置

体験施設等の整備

・島内外の人が交流できる拠点として、古いまち並みや古民家等を活用しながら、絞りや干物づくりなどの島の伝統文化、食文化などを体験・学習できる施設の整備

歴史・文化資源の保全・活用

・神社や古墳などの保全及び観光資源としての有効活用

自然資源を生かした観光業の振興

海水浴場の整備

・シャワーやトイレ、更衣室などを完備し、海水浴やマリンスポーツなどを多目的に楽しめる海水浴場の整備

巡回バスの運行

・観光客及び島民の移動手段を確保するため、島内を巡回する「ぐるりんバス」の定期運行の実施

5 漁業、観光、商工業が連携する元気な島

雇用

若者の雇用創出

・介護福祉施設や保育所など、若者のための新たな雇用の場の整備

高齢者の雇用創出

・のりづくりなどの食品加工やシルバー菜園、産直施設など、元気な高齢者が生きがいを持って働くことができる雇用の場の整備

関連施設の整備

漁業関連施設や倉庫等の集積 / 水産業振興ゾーン

・漁業を操業しやすいよう、漁業関連施設や倉庫等の集積

漁港施設の老朽化対策

漁業集落排水処理施設の維持・保全

日間賀島地区振興基本計画図

将来像

活気とふれあいのある やさしい島

まちづくり目標

目標1 おもてなしの島

目標2 災害に強い安全・安心な島

目標3 子どもや高齢者にやさしい島

目標4 ゆっくり、のんびりと訪れたい島

目標5 漁業、観光、商工業が連携する元気な島



移転や移住用地としての住宅地の整備
(低未利用地の住宅、工房等への活用)

体験施設等の整備

診療所の充実
(診療所施設・医療設備の充実)

防災面に配慮した道路の整備
(主要町道の維持・改修)

介護支援のための施設整備
子育て支援のための施設整備

歴史・文化資源の保全・活用

海水浴場の整備

駐車場の整備(島民向け)
マリナーの整備

渡船施設の整備

駐車場の整備(観光関係者向け)

乗船場周辺の緑化

駐車場の整備(島民向け)

津波一次避難場所
及び避難路の整備

学童保育の整備

防災面に配慮した道路の整備
(主要町道の維持・改修)

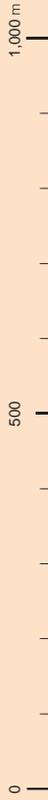
散策路や休憩施設の整備

緑化の推進



地図に表示できない事業

- 海上交通の充実
- 観光交流ゾーンの整備
- 観光商業地の整備
- 建築物の不燃化
- ごみ処理場の整備
- ヘリポートの整備
- 海岸部の森林の保全
- 案内看板の設置
- 巡回バスの運行
- 自然資源を生かした観光業の振興
- 若者の雇用創出
- 高齢者の雇用創出
- 漁港施設の老朽化対策
- 漁業集落排水処理施設の維持・保全



市街化区域		凡 例
目標1 おもてなしの島
目標2 災害に強い安全・安心な島
	道路: 未整備
	道路: 整備済
	津波一次避難場所
目標3 子どもや高齢者にやさしい島
目標4 ゆっくり、のんびりと訪れたい島
目標5 漁業、観光、商工業が連携する元気な島

南知多町振興基本計画

平成 25 年 3 月

発行・編集：南知多町企画課

住所 〒470-3495

愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪 18 番地

TEL 0569-65-0711 FAX 0569-65-0694